

スタンドアローン型
プロジェクト診断支援ツール
v4.1R3.0X

操作マニュアル

平成26年7月

IPA/SEC

	現版数	ページ数 (枚数)
	3.01	1/72 (72 枚)

変更履歴

版数	日付	ページ	変更内容	作成	承認
2.00	2011 年 7 月 29 日	5 6 8 12 13 14 47 48 61	(1) 対 象 OS と 対 象 ソ フ ト ウ ェ ア に WindowsVista/MS-Office2010(Excel2010) を追加 (2) 必要ファイル名変更 図 2-1 信頼幅分析 Work シートを追加 シート関連図 信頼幅分析 Work シートを追加 図表選択シート画面に信頼幅入力エリアを追 加 信頼幅入力エリアの記述を追加 散布図表示例(工数－工期)を信頼幅付きの 画像に差し替え 図表の作成手順に(5)信頼幅入力を追記 (6)図表作成時に削除される前回作成シート の記述を修正 (8)図表表示例を信頼幅付きの図に差し替え 図表のボタン操作を追加 必要ファイル名変更	久田	秋田
2.01	2012 年 7 月 13 日	5 23 60	Excel2010 対応	秋田	秋田
3.01	2014 年 6 月 19 日	5 21 24 58	Windows 7 対応 Excel2013 対応	佐伯	三縄

目次

はじめに	4
1. 動作条件	5
2. 概要	6
3. シート説明	7
4. 画面説明	9
4.1. Top シート	9
4.2. 「記入フォーム」シート(全体版／簡易版)	11
4.3. 「図表選択」シート	12
4.4. 「図表(図表名)」シート	14
4.5. 「データ精査(必須チェック)」シート	15
4.6. 「データ精査(矛盾チェック)」シート	16
4.7. 「data1」、「data2」、「data3」、「data4」、「data5」シート	17
4.8. 「削除ログ」シート	18
4.9. 「一括取込ログ」シート	19
5. 事前準備	20
6. 操作方法	23
6.1. スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールデータ登録フロー	23
6.2. スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールの起動・終了	24
6.3. 組織 ID の入力	26
6.4. プロジェクトの新規保存	27
6.5. プロジェクトの読込表示	30
6.6. プロジェクトの上書き保存	32
6.7. プロジェクトデータのコピー	34
6.8. 記入フォームシートのクリア	36
6.9. プロジェクトデータの削除	38
6.10. 入力データチェック	41
6.11. 図表の作成	44
6.12. データ精査(必須チェック)	48
6.13. データ精査(矛盾チェック)	50
6.14. 記入フォーム切替	52
6.15. 一括データ登録用 CSV 出力	53
6.16. プロジェクトデータ一括取込	54
6.17. プロジェクトデータ一括出力	56
7. AccessDB連携	58
7.1. AccessDB連携動作条件	58
7.2. AccessDB連携概要	59
7.3. AccessDB連携シート説明	60
7.4. AccessDB連携画面説明	61
7.4.1 「DB 登録」シート	61
7.4.2 「LOG」シート	63
7.5. AccessDB連携事前準備	64
7.6. AccessDB連携操作方法	65
7.6.1 AccessDB読み込み	65
7.6.2 AccessDB書き込み	68
7.6.3 計算値一括反映	71
7.6.4 バージョンチェック	72

はじめに

本書は、「スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール Ver4.1」の操作マニュアルです。

1. 動作条件

スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールの動作確認済み環境は以下の通りです。

これ以外の環境の動作は保証しておりません。

(AccessDB 連携については 7 章参照)

(1) 対象 OS と対象ソフトウェア

下記組み合わせでの動作を確認しています。

No	対象 OS	対象ソフトウェア
1	Windows XP	MS-Office2010(Excel 2010)
2	Windows Vista	MS-Office2007(Excel 2007)
3	Windows Vista	MS-Office2010(Excel 2010)
4	Windows 7	MS-Office2010(Excel 2010) MS-Office2013(Excel 2013)

(2) マクロセキュリティレベル

- ・「中」以下 (Windows XP の場合)

- ・「すべてのマクロを有効にする」(Windows Vista の場合)

※ マクロセキュリティレベルの変更方法については「5. 事前準備」をご参照ください。

(3) 必要なファイル

- ・ スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール_v4.1R3.0x.xlsm

2. 概要

スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールは、開発プロジェクトのデータを蓄積すると共に、プロジェクトデータの図表出力を行ったり、Web 型プロジェクト診断支援ツールとのデータ連携(CSV 出力)を行ったりするツールです。ツール本体はExcelにて構成されています。(AccessDB 連携については 7 章参照)

スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールには、大きく5つの機能があります。

- ・ Excel ファイル上でのデータ入力・編集
(「記入フォーム」シート、「data1」～「data5」シートを対象としたデータの読込表示、保存)
(「記入フォーム」シートは、簡易版(※1)と全体版(※2)の切り替えが可能)
(※1)記入フォーム簡易版:入力項目が少なく簡単に登録が可能なフォーム
(※2)記入フォーム全体版:簡易版より詳細な項目を登録することが可能なフォーム
- ・ CSV ファイルの出力
(「data1」～「data5」シートより、Web 型プロジェクト診断支援ツール向けの CSV ファイルを作成)
- ・ Excel ファイル上での主要図表の出力
(「data1」～「data5」シートのデータ対象とした図表の作成、表示)
- ・ Excel ファイル上でのデータ精査
(「data1」～「data5」シートを対象としたデータの必須チェック、矛盾チェック)
- ・ データ一括取込・データ一括出力
(「data1」～「data5」シートのデータを対象とした一括取込・一括出力)

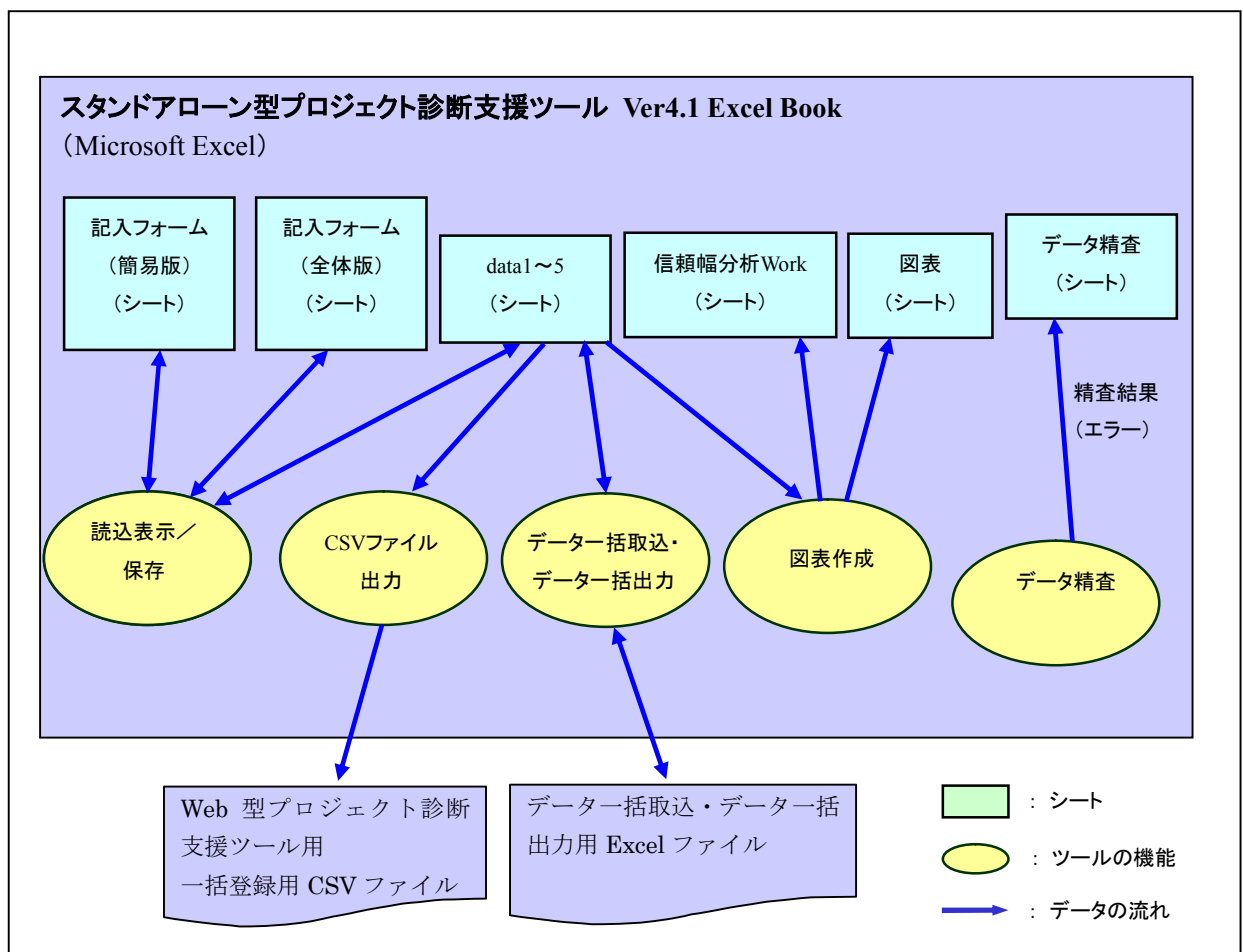


図 2-1. スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール概要

3. シート説明

スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールは、Excel ファイルのマクロ機能を使用して各種機能を実現しており、複数のシートから構成されています。各シートの一覧とその概要は、次の通りです。

シート名	概要	備考
Top	以下の操作を行うためのシートです。 ・組織 ID やプロフィール情報の入力、変更 ・記入フォームの切替(簡易版⇄全体版) ・Web 型プロジェクト診断支援ツールにて使用可能なプロジェクトデータの一括取込用ファイルの作成 ・「data1」～「data5」シートを別 Excel ファイルと交換する	
記入フォーム(簡易版)/ 記入フォーム(全体版)	プロジェクトデータの入力、変更を行うためのシートです。 簡易版は入力項目が少なく、簡単に登録することができます。 全体版は簡易版より詳細の項目を登録することができます。	
データ精査 (必須チェック)	入力、変更されたプロジェクトデータの精査(必須チェック)を指示するためのシートです。	
データ精査 (矛盾チェック)	入力、変更されたプロジェクトデータの精査(矛盾チェック)を指示するためのシートです。	
図表選択	図表作成を行うためのシートです。 表示する図表と絞込み条件を選択します。	
信頼幅分析 Work_(図表名)	図表選択にて信頼幅表示を指定した場合、信頼幅を作成するためのデータや計算値を表示します。	
図表_(図表名)	図表選択にて指定された図表を表示します。	
(説明用)_工程定義	工程の呼称と SLCP とのマッピングを説明するためのシートです。	
data1	プロジェクトデータが格納されるシートです。	※3
data2	プロジェクトデータが格納されるシートです。	※3
data3	プロジェクトデータが格納されるシートです。	※3
data4	プロジェクトデータが格納されるシートです。	※3
data5	プロジェクトデータが格納されるシートです。	※3
削除ログ	削除されたプロジェクトデータのログが出力されるシートです。	
一括取込ログ	プロジェクトデータ一括取込時にエラーがあった場合、エラー内容を記録するシートです。	

※3: data1～data5 シートは、記入フォームに入力された値を使用した自動計算値も格納されているため直接本シートのデータを修正すると、動作が保証できない場合があります。ご注意ください。

[シート関連図]

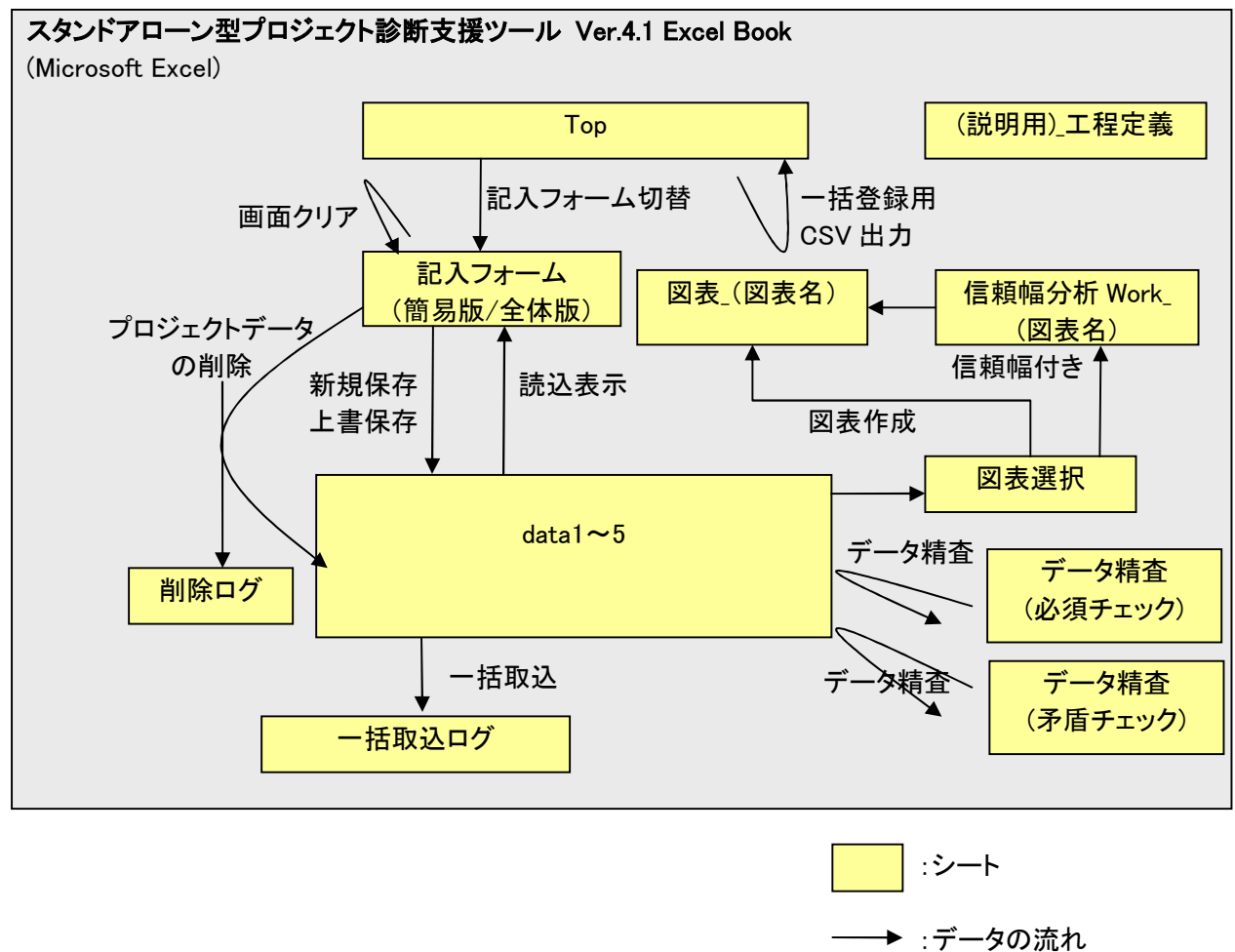


図 3-1. スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール シート関連図

4. 画面説明

ツールの操作方法については第6章を参照してください。

4.1. Top シート

スタンドアロン型プロジェクト診断支援ツール Ver. 4.1
Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC All rights reserved.

① 組織ID: SEC ② 組織ID入力

③ 記入フォーム切替 (簡易版→全体版)

「記入フォーム切替」ボタンを押下すると、記入フォームを簡易版もしくは全体版に切替えます。
簡易版では、入力項目が少なく、簡単に入力を行うことができます。
全体版は、入力項目が多いですが、より詳細に入力を行うことができます。

④ 現在の記入フォーム: 簡易版

⑤ 一括データ登録用 CSV出力

「一括データ登録用CSV出力」ボタンを押下すると、
「data1」～「data5」シートから
Web型プロジェクト診断支援ツールのプロジェクトデータ一括登録用フォーマットのCSVファイルを出力します。

⑥ ステータス:

⑦ プロジェクトデータ一括取込

「プロジェクトデータ一括取込」ボタンを押下すると、
別ファイルのプロジェクトデータを「data1」～「data5」シートへ追加で取り込みます。

⑧ プロジェクトデータ一括出力

「プロジェクトデータ一括出力」ボタンを押下すると、
「data1」～「data5」シートを、編集可能な状態で別ファイルに出力します。

① 組織 ID 表示エリア

登録した組織 ID が表示されます。

組織 ID は、この Excel の管理組織もしくは管理者が特定できるように設定します。

② 「組織 ID 入力」ボタン

このボタンを押下すると、組織 ID を入力するためのフォームを開きます。

③ 「記入フォーム切替」ボタン

このボタンを押下すると、「記入フォーム」シートを「全体版」⇄「簡易版」に切り替えます。

記入フォームが「全体版」の時、このボタンは「記入フォーム(全体版→簡易版)」となり、

記入フォームが「簡易版」の時、このボタンは「記入フォーム(簡易版→全体版)」となります。

「全体版」、「簡易版」に関しては、3.シートの説明の記入フォーム(簡易版)/ 記入フォーム(全体版)を参照して下さい。

- ④ 記入フォームモード表示エリア
現在の記入フォームのモードを表示します。
- ・記入フォーム全体版を表示中 ⇒ 「全体版」が表示されます。
 - ・記入フォーム簡易版を表示中 ⇒ 「簡易版」が表示されます。
- ⑤ 「一括データ登録用 CSV 出力」ボタン
このボタンを押下すると、「data1」～「data5」シートからデータを読み込み、CSV ファイルを作成します。
この CSV ファイルは、Web 型プロジェクト診断支援ツールにて、プロジェクトデータの一括取込用ファイルとして使用することができます。
- ⑥ CSV 出力ステータス表示エリア
CSV 出力処理の処理状況を表示します。
- ・CSV 出力処理実行中 ⇒ 「処理中...」が表示されます
 - ・CSV 出力処理終了 ⇒ 「終了」が表示されます
- ⑦ 「プロジェクトデータ一括取込」ボタン
このボタンを押下すると、指定されたプロジェクトデータファイル(Excelファイル)から「data1」～「data5」シートのデータを読み込み、スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールの「data1」～「data5」シートにデータを追加します。追加されたデータは、スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール上で編集する事が可能です。
- ⑧ 「プロジェクトデータ一括出力」ボタン
このボタンを押下すると、指定されたプロジェクトデータファイル(Excelファイル)へ「data1」～「data5」シートのデータを出力します。出力されたデータは、Excelベースで編集する事が可能です。
- 注意) 出力先として、既存のスタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールを指定した場合、既存のスタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールの全シートは削除され、「data1」～「data5」シートのみを持つファイルで保存されますので注意して下さい。

4.2.「記入フォーム」シート(全体版／簡易版)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

① 編集集中... ② プロジェクトID選択! ③ 読込表示 ④ 上書保存 ⑤ 画面クリア ⑥ 新規保存 ⑦ プロジェクトデータ削除 ⑧ 入力データチェック

分類	項番	データ項目	(*)は選択式	説 明	記
⑨	12050	プロジェクト名		各社にてプロジェクトを識別するための名称。	
	10084	各社採番のプロジェクトID		各社にてプロジェクトを識別するためのID。サブシステムの識別にも利用。 例: 1-1, 1-2, ... (全体システム1のサブシステムの場合)	
	11001	全体システム・サブシステム識別フラグ(*)		全体システムかサブシステムかを識別するフラグ。	
	11002	グルーピングID		グルーピングできるプロジェクト群には同じグループIDを振る。 ※正の整数で、11001の選択に拘らず記入する。	
	10085	各社評価の本データの信頼性(*)		当該プロジェクトデータの信頼度。	
	103	開発プロジェクトの種類(*)		開発プロジェクトの種類(新規か改修か)。	
	104	母体システムの安定度(*)		103が「改修・保守」の場合、母体システムの安定度。	
	105	開発プロジェクトの形態(*)		開発プロジェクトの形態。	
	106	変種開発の場合の作業場所(*)		105が「変種開発」の場合、その作業場所。(3つまで選択)	
	107	開発プロジェクトの概要		開発プロジェクトの作業概要。 ※該当するもの全てに○を選択。	

ソフトウェア開発(*) インフ
移行(*) (新
コンサルティング(*) プロジェ
現地(本書システム) 顧客
環境構築・調整(*)

- ① 「編集集中」表示欄
「記入フォーム」シートに、なんらかの入力が行なわれた段階で「編集集中...」を表示します。
「画面クリア」ボタン押下で記入フォーム(全体入力版)の編集がクリアされたり、「新規保存」、「上書保存」ボタン押下で保存されたりした場合、「編集集中...」は、消去されます。
- ② 「各社採番のプロジェクト ID 選択」リスト
プロジェクトデータを特定するための各社で採番したプロジェクト ID とプロジェクト名を表示します。
- ③ 「読込表示」ボタン
このボタンを押下すると、②で指定された ID のデータを「data1」、「data2」、「data3」、「data4」および「data5」の各シートからデータを読み込み「記入フォーム」シートに表示します。
- ④ 「上書保存」ボタン
既に「data1」～「data5」の各シートに登録済のデータに対して、そのプロジェクト ID、プロジェクト名が②に表示されている場合にこのボタンを押下すると、「記入フォーム」シートに入力されているプロジェクトデータを、「data1」、「data2」、「data3」、「data4」、および「data5」の各シートに上書きする処理を行ないます。
- ⑤ 「画面クリア」ボタン
このボタンを押下すると、「記入フォーム」シートに入力されているプロジェクトデータをクリアします。
「新規保存」または「上書保存」にて保存処理がされていないデータは復元できなくなります。
- ⑥ 「新規保存」ボタン
「項番 10084 各社採番のプロジェクト ID」に入力した ID でデータを新規で保存します。
このボタンを押下すると、「記入フォーム」シートに入力されているプロジェクトデータを、「data1」、「data2」、「data3」、「data4」、および「data5」の各シートに新規保存する処理を開始します。
- ⑦ 「プロジェクトデータの削除」ボタン
このボタンを押下すると、「各社採番のプロジェクト ID」エリアに入力されている ID で特定されたプロジェクトデータを、「data1」、「data2」、「data3」、「data4」、および「data5」の各シートから削除する処理を開始します。
- ⑧ 「入力データチェック」ボタン
このボタンを押下すると、「記入フォーム」シートに入力されているプロジェクトデータに対し、「必須チェック」、「矛盾チェック」を行ないます。
- ⑨ プロジェクトデータエリア
プロジェクトデータを入力するエリアです。

4.3.「図表選択」シート

①

図表作成

「表示対象図表」から図表を選択し、図表作成ボタンを押下すると対象の図表シートに図表を作成します。

表示対象を絞り込む場合は、「絞り込み条件」にて条件を設定してください。

図表選択ツール Ver. 4.1 (2009-8-31)
Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC. All rights reserved.

表示対象図表

図表名	種類	選択	図表表示
工数-工期(※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="⇒"/>
規模-工数 (FP) (※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="⇒"/>
規模-工数 (SLOC) (※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="⇒"/>
規模-生産性 (FP) (※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="⇒"/>
規模-生産性 (SLOC) (※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="⇒"/>
工程別月数比	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="⇒"/>
工程別工数比	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="⇒"/>
規模-発生不具合数 (FP)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="⇒"/>
規模-発生不具合数 (SLOC)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="⇒"/>
規模-発生不具合密度 (FP)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="⇒"/>
規模-発生不具合密度 (SLOC)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="⇒"/>
レビュー指摘件数 (FP)	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="⇒"/>
レビュー指摘件数 (SLOC)	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="⇒"/>
レビュー指摘件数 (工数)	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="⇒"/>

絞り込み条件

項目名	条件
種別	<input type="checkbox"/> a: 新規開発 <input type="checkbox"/> b: 改修・保守 <input type="checkbox"/> c: 再開発 <input type="checkbox"/> d: 移植
業種	<input type="checkbox"/> A: 農林業 <input type="checkbox"/> B: 林業 <input type="checkbox"/> C: 漁業 <input type="checkbox"/> D: 鉱業 <input type="checkbox"/> E: 建設業 <input type="checkbox"/> F: 製造業 <input type="checkbox"/> G: 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> H: 情報通信業 <input type="checkbox"/> I: 運輸業 <input type="checkbox"/> J: 卸売・小売業 <input type="checkbox"/> K: 金融・保険業 <input type="checkbox"/> L: 不動産業 <input type="checkbox"/> M: 飲食店・宿泊業 <input type="checkbox"/> N: 医療・福祉 <input type="checkbox"/> O: 教育・学習支援業 <input type="checkbox"/> P: 複合サービス業 <input type="checkbox"/> Q: サービス業 (他に分類されないもの) <input type="checkbox"/> R: 公務 (他に分類されないもの) <input type="checkbox"/> S: 分類不能の産業
アーキテクチャ	<input type="checkbox"/> a: スタンドアロン <input type="checkbox"/> b: メインフレーム <input type="checkbox"/> c: 2階層クライアント/サーバ <input type="checkbox"/> d: 3階層クライアント/サーバ <input type="checkbox"/> e: イン트라ネット/インターネット <input type="checkbox"/> f: その他
開発対象プラットフォーム	<input type="checkbox"/> a: Windows95/98/Me系 <input type="checkbox"/> b: WindowsNT/2000/XP系 <input type="checkbox"/> c: Windows Server 2003 <input type="checkbox"/> d: HP-UX <input type="checkbox"/> e: HI-UX <input type="checkbox"/> f: AIX <input type="checkbox"/> g: Solaris <input type="checkbox"/> h: Redhat Linux <input type="checkbox"/> i: SUSE Linux <input type="checkbox"/> j: Miracore Linux <input type="checkbox"/> k: Turbo Linux <input type="checkbox"/> l: その他Linux <input type="checkbox"/> m: Linux <input type="checkbox"/> n: その他UNIX系 <input type="checkbox"/> o: VMS <input type="checkbox"/> p: IIS <input type="checkbox"/> q: TRON <input type="checkbox"/> r: オフコン <input type="checkbox"/> s: その他OS
言語	<input type="checkbox"/> a: アセンブラ <input type="checkbox"/> b: COBOL <input type="checkbox"/> c: PL/I <input type="checkbox"/> d: Prolog <input type="checkbox"/> e: C++ <input type="checkbox"/> f: Visual C++ <input type="checkbox"/> g: C言語 <input type="checkbox"/> h: VB <input type="checkbox"/> i: Excel (VBA) <input type="checkbox"/> j: Inputthan <input type="checkbox"/> k: PL/SQL <input type="checkbox"/> l: ABAP <input type="checkbox"/> m: C# <input type="checkbox"/> n: Visual Basic .NET <input type="checkbox"/> o: Java <input type="checkbox"/> p: Perl <input type="checkbox"/> q: Shellスクリプト <input type="checkbox"/> r: Delphi <input type="checkbox"/> s: HTML <input type="checkbox"/> t: XML <input type="checkbox"/> u: その他言語
リリース年	<input type="text"/> 年～ <input type="text"/> 年

対象工程 (※1の図表で使用する)

基本設計

}

総合テスト (ベンダ確認)

※上の対象工程で選択した工程に対して実績日が正しく入力されていることをご確認ください。

信頼幅を追加したい場合は信頼幅を入力してください
(信頼幅は0以上100未満の数値を入力してください)

図表名	信頼幅
工数-工期	
規模-工数 (FP)	
規模-工数 (SLOC)	
規模-生産性 (FP)	
規模-生産性 (SLOC)	
規模-発生不具合数 (FP)	
規模-発生不具合数 (SLOC)	
規模-発生不具合密度 (FP)	
規模-発生不具合密度 (SLOC)	

① 「図表作成」ボタン

このボタンを押下すると、④で指定された条件で絞り込んだデータを使用して、②で指定された図表を作成します。図表は、「図表」シートに図表名を付加して表示します。

② 表示対象図表選択エリア

表示する図表を選択します。最上部の「選択」のチェックボックス ☒ を選択すると、全ての図表が選択状態となります。

「⇒」ボタンを押下すると、該当の図表が既に作成済の場合、その図表を表示します。

③ 対象工程選択エリア

対象工程選択エリアで指定した工程は以下の図表が対象となります。

- ・工数-工期
- ・規模-工数 (FP)
- ・規模-工数 (SLOC)
- ・規模-生産性 (FP)
- ・規模-生産性 (SLOC)

④ 絞り込み条件選択エリア

図表表示時に対象データを絞り込むための条件を指定するエリアです。
 チェックボックスで指定したい条件を選択します。
 リリース年については開始年と終了年を手入力で指定します。

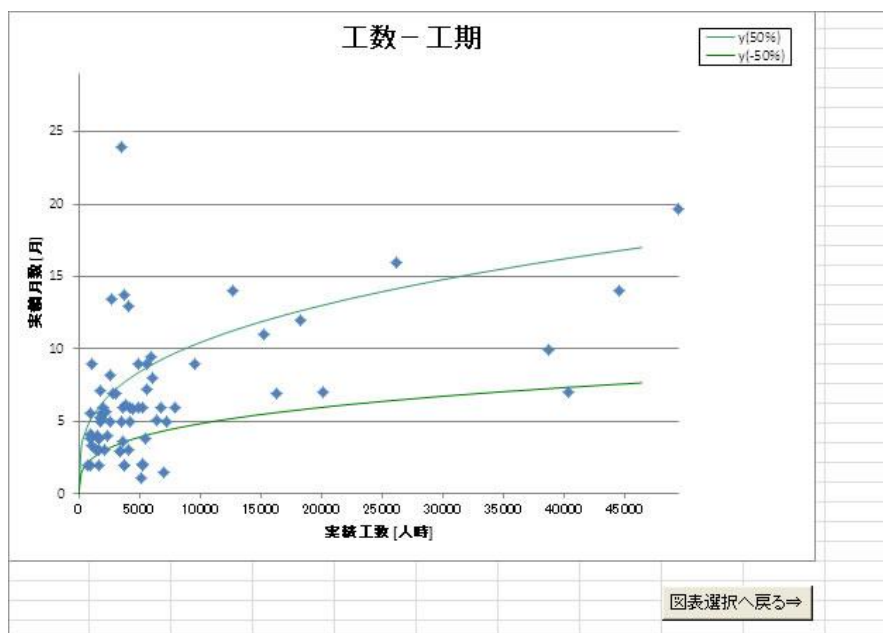
項目名	条件
種別	「a:新規開発」、「b:改修・保守」、「c:再開発」、「d:拡張」
業種	「A:農業」、「B:林業」、「C:漁業」、「D:鉱業」、「E:建設業」、「F:製造業」、「G:電気・ガス・熱供給・水道業」、「H:情報通信業」、「I:運輸業」、「J:卸売・小売業」、「K:金融・保険業」、「L:不動産業」、「M:飲食店、宿泊業」、「N:医療、福祉」、「O:教育、学習支援業」、「P:複合サービス事業部」「Q:サービス業(ほかに分類されないもの)」「R:公務(上記に分類されないもの)」「S:分類不能の産業」
アーキテクチャ	「a:スタンドアロン」、「b:メインフレーム」、「c:2 階層クライアント/サーバ」、「d:3 階層クライアント/サーバ」、「e:イントラネット/インターネット」、「f:その他」
開発対象プラットフォーム	「a:Windows95/98/Me 系」、「b:WindowsNT/2000/XP 系」、「c:Windows Server 2003」、「d:HP-UX」、「e:HI-UX」、「f:AIX」、「g:Solaris」、「h:Redhat Linux」、「i:SUSE Linux」、「j:Miracle Linux」、「k:Turbo Linux」、「l:その他 Linux」、「m:Linux」、「n:その他 UNIX 系」、「o:MVS」、「p:IMS」、「q:TRON」、「r:オフコン」、「s:その他 OS」
言語	「a:アセンブラ」、「b:COBOL」、「c:PL/I」、「d:Pro*C」、「e:C++」、「f:Visual C++」、「g:C」、「h:VB」、「i:Excel (VBA)」、「j:PowerBuilder」「k:Developer2000」、「l:InputMan」、「m:PL/SQL」、「n:ABAP」、「o:C#」「p:Visual Basic .NET」、「q:Java」、「r:Perl」、「s:Shell スクリプト」、「t:Delphi」「u:HTML」、「w:その他の言語」
リリース年	開始年(From)～終了年(To)

⑤ 信頼幅入力エリア

図表に信頼幅を追加して表示したい場合に、信頼幅を指定するエリアです。②の図表種類が「散布図」の図表に対して指定できます。

4.4.「図表_(図表名)」シート

<散布図 表示例 (例:工数-工期(信頼幅付き))>



<基本統計量 表示例 (例:レビュー指摘件数(FP))>

レビュー指摘件数(FP)(基本統計量)								
	N	最小	P25	中央	P75	最大	平均	標準偏差
FP規模あたりのレビュー指摘件数_要件定義	2	568.1818	568.1818	568.1818	568.1818	568.1818	568.1818	0
FP規模あたりのレビュー指摘件数_基本設計	2	795.4545	795.4545	795.4545	795.4545	795.4545	795.4545	0
FP規模あたりのレビュー指摘件数_詳細設計	0	—	—	—	—	—	—	—
FP規模あたりのレビュー指摘件数_製作	2	1250	1250	1250	1250	1250	1250	0
FP規模あたりのレビュー指摘件数_結合テスト	2	1477.273	1477.273	1477.273	1477.273	1477.273	1477.273	0
FP規模あたりのレビュー指摘件数_総合テスト_ベンダ確認	2	1704.545	1704.545	1704.545	1704.545	1704.545	1704.545	0
FP規模あたりのレビュー指摘件数_総合テスト_ユーザ確認	2	1931.818	1931.818	1931.818	1931.818	1931.818	1931.818	0

「図表選択」シートで指定した図表は「図表_(図表名)」シートで図表を作成します。
 例えば、「図表選択」シートで「工数-工期」を指定した場合、「図表_工数-工期」シートが作成され
 「図表_工数-工期」シートに工数-工期の図表が表示されます。
 本シートは、「図表選択」シートで図表作成を行う毎に削除⇒新規作成されます。

4.5.「データ精査（必須チェック）」シート

[illegible]

- ① 「データ精査(必須チェック)」ボタン
このボタンを押下すると、「data1」、「data2」、「data3」、「data4」および「data5」の各シートのプロジェクトデータの精査(必須チェック)を行います。
- ② エラー件数表示欄
Error、Warning の件数が表示されます。
- ③ データ精査開始日時表示欄
最後にデータ精査(必須チェック)処理を開始した日時がここに表示されます。
- ④ データ精査結果表示欄
Error、Warning がある場合、内容が表示されます。

注意) Error、Warning の定義は以下の通り

Error : 必須項目が入力されていない、修正が必要

Warning : 必須項目であるが修正しなくても処理が可能

4.6.「データ精査（矛盾チェック）」シート

[illegible]

- ① 「データ精査(矛盾チェック)」ボタン
このボタンを押下すると、「data1」、「data2」、「data3」、「data4」および「data5」の各シートのプロジェクトデータの精査(矛盾チェック)を行います。
- ② エラー件数表示欄
Error、Warning の件数が表示されます。
- ③ データ精査開始日時表示欄
最後にデータ精査(矛盾チェック)処理を開始した日時がここに表示されます。
- ④ データ精査結果表示欄
Error、Warning がある場合、内容が表示されます。

注意) Error、Warning の定義は以下の通り

Error : 入力間で重大な矛盾があり、修正が必要。

Warning : 入力に矛盾があるが、修正しなくても処理が可能。

4.7. 「data1」、「data2」、「data3」、「data4」、「data5」シート

(1) 「data1」シート

[illegible]

(2) 「data2」シート

[illegible]

(3) 「data3」シート

[illegible]

(4) 「data4」シート

[illegible]

(5) 「data5」シート

[illegible]

- ① 項目名称ヘッダ
「記入フォーム」シートに対応したプロジェクトデータの項目名称が表示されます。
- ② プロジェクトデータ表示欄
プロジェクトデータが表示されます。

4.8.「削除ログ」シート

[illegible]

- ① プロジェクト ID、削除日時表示エリア
「各社採番のプロジェクト ID」と削除したタイムスタンプが表示されます。
- ② 「data1」シート削除情報
削除したプロジェクトデータの「data1」シートの削除情報がヘッダ付で表示されます。
- ③ 「data2」シート削除情報
削除したプロジェクトデータの「data2」シートの削除情報がヘッダ付で表示されます。
- ④ 「data3」シート削除情報
削除したプロジェクトデータの「data3」シートの削除情報がヘッダ付で表示されます。
- ⑤ 「data4」シート削除情報
削除したプロジェクトデータの「data4」シートの削除情報がヘッダ付で表示されます。
- ⑥ 「data5」シート削除情報
削除したプロジェクトデータの「data5」シートの削除情報がヘッダ付で表示されます。

4.9.「一括取込ログ」シート

① {	データシート取り込み:C:\Documents and Settings¥ap093170¥デスクトップ¥プロジェクトデータ.xls						
	7行目のプロジェクトID:test1は、取り込みファイルの3行目と重複しています。						
	8行目のデータがdata1～data5シート間で一致しません。						

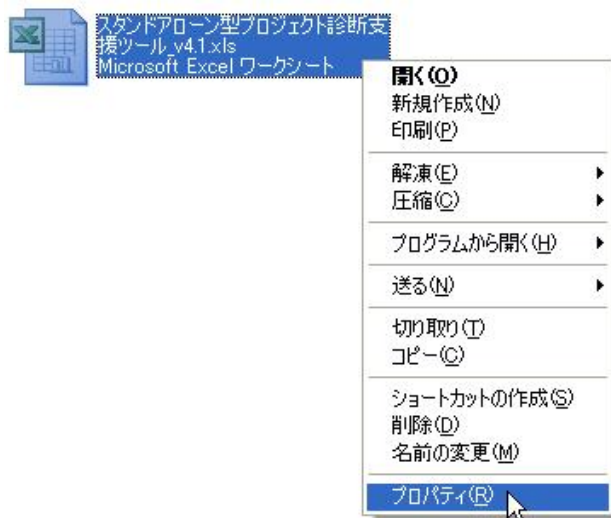
① プロジェクトデータ一括取込エラー内容表示エリア

プロジェクトデータ一括取込でエラーが発生した場合、エラーの内容が表示されます。

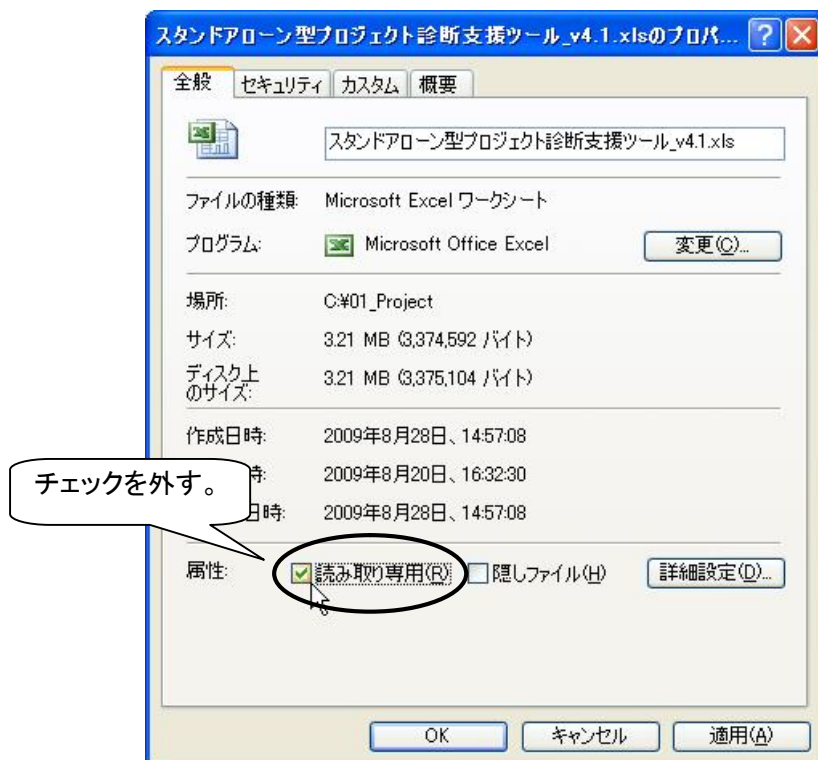
5. 事前準備

(1) 読み取り専用の確認

- ① スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールを右クリックし、「プロパティ」を選択します。



- ② 表示されるダイアログの属性の「読み取り専用」にチェックがされている場合は、チェックを外します。



(2) マクロセキュリティレベルの確認

<Microsoft Office 2007, 2010, 2013 (MS-Excel 2007, 2010, 2013) の場合>

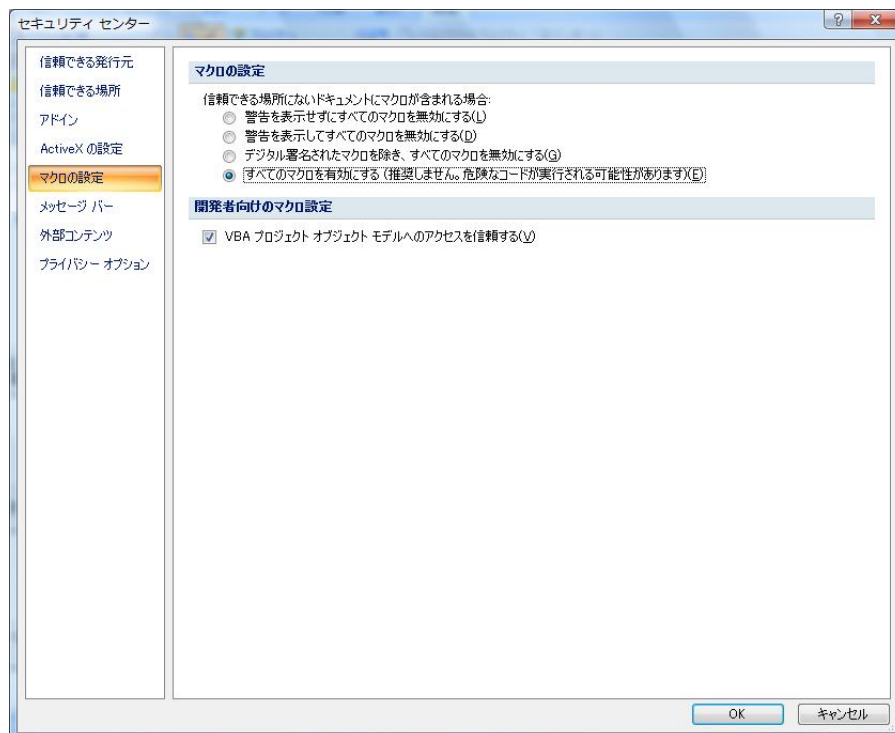
MS-Office2007 の場合、MS-Office2003 のように警告ダイアログが表示されませんので、操作前には必ず、マクロのセキュリティ設定を確認するようにしてください。

① スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールを開きます。

② Excel ファイルを開き、メニューから
「開発」→「マクロのセキュリティ」
を選択します。



③ セキュリティセンターの画面で、
「すべてのマクロを有効にする(推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)」
を選択し、OK ボタンを押します。
注意) スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール使用後、設定を元に戻すため設定値を記録しておくことを推奨します。

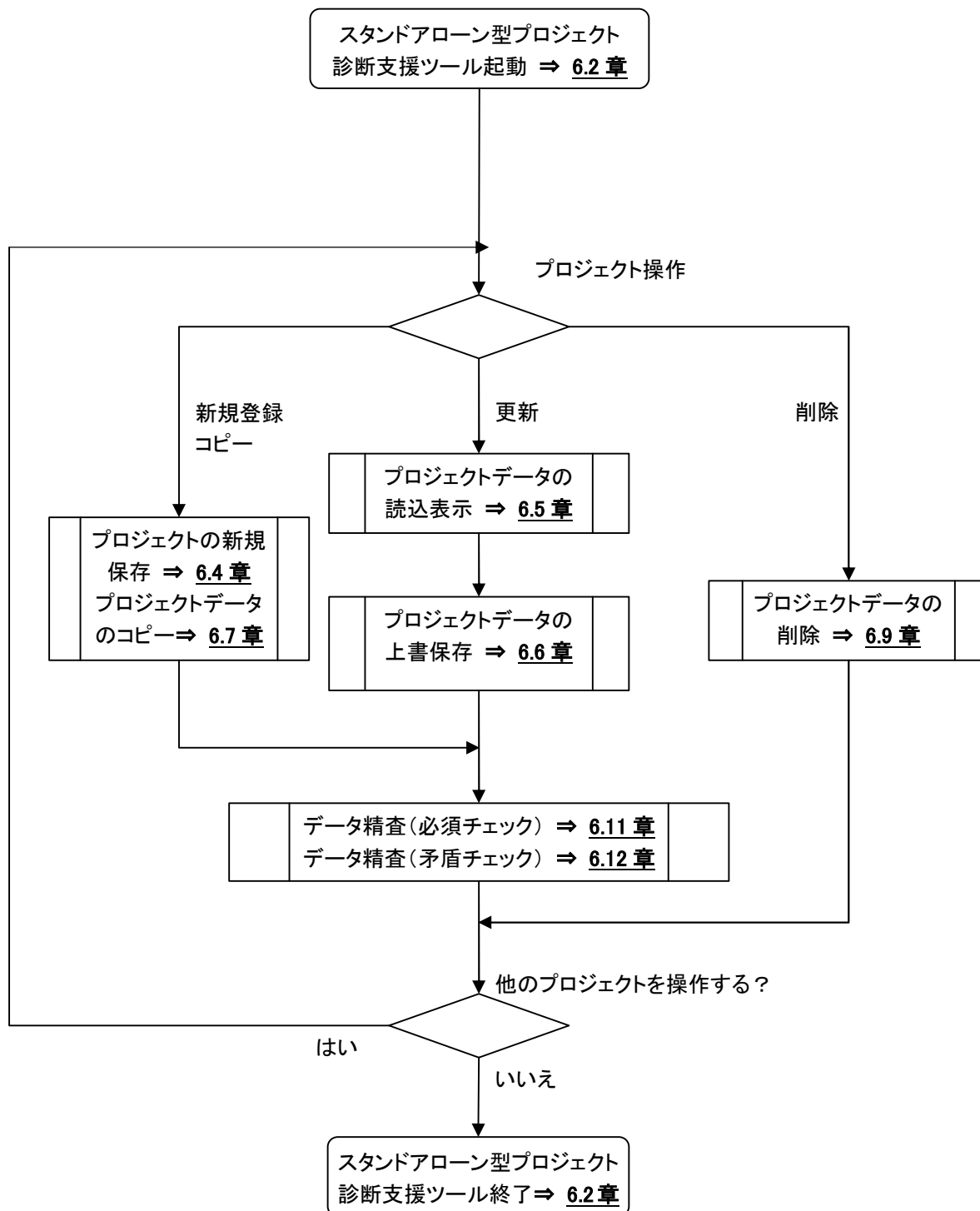


- ④ 一旦 Excel を保存し終了させ、スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールを再度開きます。スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールのボタンが押下できるようになれば、設定は完了です。

※安全のため、スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールの使用後は、セキュリティセンターのマクロの設定を③で変更する前の設定に戻し、ツールを使用する都度③のセキュリティ設定を実施してください。

6. 操作方法

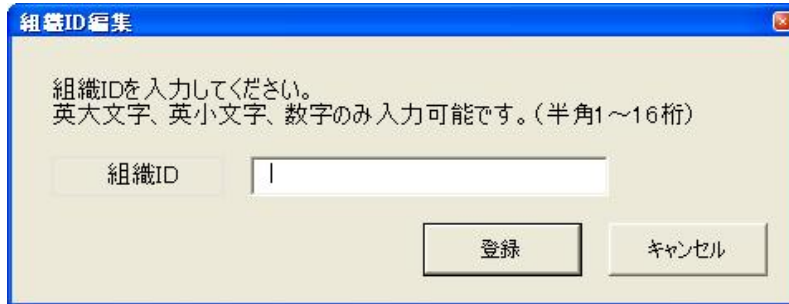
6.1. スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールデータ登録フロー



6.2. スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールの起動・終了

(1) 起動

- ① 組織 ID が未登録の場合、以下の組織 ID 入力フォームが表示されますので、組織 ID を入力して、「登録」ボタンを押してください。
詳しくは、「6.3. 組織 ID の入力」を参照してください。



補足)組織 ID は、本 Excel ツールの管理者識別のため、管理組織、もしくは管理者を登録してください。

組織 ID が既に入力されている場合は、前回保存時のシートが最初に表示されます。

② 「Top」シートが表示されます。

スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール Ver. 4.1
Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC All rights reserved.

組織ID: SEC 組織ID入力

記入フォーム切替
(簡易版→全体版)

「記入フォーム切替」ボタンを押下すると、記入フォームを簡易版もしくは全体版に切替えます。
簡易版では、入力項目が少なく、簡単に入力を行うことができます。
全体版は、入力項目が多いですが、より詳細に入力を行うことができます。

現在の記入フォーム: 簡易版

一括データ登録用
CSV出力

「一括データ登録用CSV出力」ボタンを押下すると、
「data1」～「data5」シートから
Web型プロジェクト診断支援ツールのプロジェクトデータ一括登録用フォーマットのCSVファイルを出力します。

ステータス:

プロジェクトデータ
一括取込

「プロジェクトデータ一括取込」ボタンを押下すると、
別ファイルのプロジェクトデータを「data1」～「data5」シートへ追加で取り込みます。

プロジェクトデータ
一括出力

「プロジェクトデータ一括出力」ボタンを押下すると、
「data1」～「data5」シートを、編集可能な状態で別ファイルに出力します。

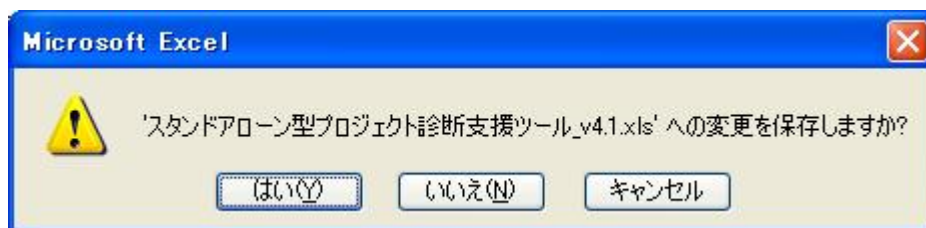
(2) 終了

操作を行った後に終了する場合は、保存確認ダイアログが表示されます。

登録したプロジェクトデータの保存や、ファイルの状態を保持する場合は「はい」を押してファイルを保存してください。

ファイルの状態を保持したくない場合は「いいえ」を押してスタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールを終了させてください。

補足) 終了時にファイルを保存すると、図表設定シートの条件等も保存されるため、次回ツールを起動する際に前回設定した状態でツールを起動することが可能です。



6.3. 組織 ID の入力

- (1) 「Top」シートの「組織 ID 入力」ボタンを押すと、組織 ID 入力フォームが表示されます。
(組織 ID が未登録の場合は、自動的に表示されます。)

スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール Ver. 4.1
Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC All rights reserved.

組織ID:

SEC

組織ID入力

記入フォーム切替
(簡易版→全体版)

「記入フォーム切替」ボタンを押下すると、記入フォームを簡易版もしくは全体版に切替えます。
簡易版では、入力項目が少なく、簡単に入力を行うことができます。
全体版は、入力項目が多いですが、より詳細に入力を行うことができます。

現在の記入フォーム: 簡易版

- (2) 「組織 ID 入力フォーム」に、組織 ID を入力して、「登録」ボタンを押します。
組織 ID は 16 桁で半角英大文字、半角英小文字、半角数字のみ入力できます。

- (3) 組織 ID 表示欄に登録した組織 ID が表示されます。

スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール Ver. 4.1
Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC All rights reserved.

組織ID:

SEC

組織ID入力

記入フォーム切替
(簡易版→全体版)

「記入フォーム切替」ボタンを押下すると、記入フォームを簡易版もしくは全体版に切替えます。
簡易版では、入力項目が少なく、簡単に入力を行うことができます。
全体版は、入力項目が多いですが、より詳細に入力を行うことができます。

現在の記入フォーム: 簡易版

6.4. プロジェクトの新規保存

プロジェクトデータの新規登録を行います。

(1) 注意事項

以降の記入フォームの画面イメージは、「記入フォーム(全体版)」のイメージです。

「記入フォーム(簡易版)」についても、操作方法是同じですので同様に操作をしてください。

(2) 「記入フォーム」シートのデータ項目「各社採番のプロジェクト ID」(下図の□部分)にプロジェクトを識別するための ID を入力します。(ID は255文字以内で指定)

ローズ	必須項目	ページ	条件必須	薄い黄色	重要	薄い緑	推奨	自動入力(入力不可)
各社採番のプロジェクトID選択↓			<div>読込表示</div> <div>上書保存</div> <div>画面クリア</div> <div>新規保存</div> <div>プロジェクトデータ削除</div> <div>入力データチェック</div>		記 Co			
分類	項番	データ項目	(*)は選択式	説明				
	12050	プロジェクト名		各社にてプロジェクトを識別するための名称。				
	10084	各社採番のプロジェクトID		各社にてプロジェクトを識別するためのID。サブシステムの識別にも利用。 例、1-1、1-2、… (全体システム1のサブシステムの場合)				
	11001	全体システム・サブシステム識別フラグ (*)		全体システムかサブシステムかを識別するフラグ。				
	11002	グルーピングID		グルーピングできるプロジェクト群に同じグループIDを振る。 ※正の整数で、11001の選択に拘らず記入する。				
	10085	各社評価の本データの信頼性 (*)		当該プロジェクトデータの信頼度。				

ここに入力する

※ 各社採番のプロジェクト ID は管理しやすい値を登録することを推奨します。

また、これまで登録した ID と違うものを入力してください。同じ ID を登録することはできません。

これまで登録した ID は「各社採番のプロジェクト ID の選択」リストで確認することができます。

「各社採番プロジェクト ID の選択」には、

「10084 各社採番のプロジェクト ID」と「12050 プロジェクト名」が表示されます。

以下は各社採番のプロジェクト ID に”プロジェクト ID(連番**)”、プロジェクト名に”プロジェクト(連番**)”で入力した例です。

ロース	: 必須項目	ページ	: 条件必須	薄い黄色	: 重要	薄い緑	: 推奨
各社採番のプロジェクトID選択↓							
<input type="text"/>							
分類	プロジェクトID(1)	プロジェクト(1)(3行目))は選択式		
	プロジェクトID(2)	プロジェクト(2)(4行目)					
	プロジェクトID(3)	プロジェクト(3)(5行目)					
	プロジェクトID(4)	プロジェクト(4)(6行目)					
	プロジェクトID(5)	プロジェクト(5)(7行目)				各社にてプロジェクト	
	プロジェクトID(6)	プロジェクト(6)(8行目)				各社にてプロジェクト 例. 1-1, 1-2, ... (

(3) 「記入フォーム」シートのその他のプロジェクトデータエリアに対し、プロジェクトデータを入力します。

ローズ : 必須項目 ページ : 条件必須 薄い黄色 : 重要 薄い緑 : 推奨 : 自動入力(入力不可)

各社採番のプロジェクトID選択 ↓

読み表示 上書保存 画面クリア 新規保存 プロジェクトデータ削除 入力データチェック

記入フォーム Ver.4.1 Copyright (C) 2009-20

分類	項番	データ項目	説明	記入・選択欄
	12050	プロジェクト名	各社にてプロジェクトを識別するための名称。	
	10084	各社採番のプロジェクトID	各社にてプロジェクトを識別するためのID。サブシステムの識別にも利用。 例. 1-1, 1-2 ... (全体システム1のサブシステムの場合)	
	11001	全体システム・サブシステム識別フラグ (*)	全体システムかサブシステムかを識別するフラグ。	
	11002	グループID	グループIDでできるプロジェクト群には同じグループIDを振る。 ※正の整数で、11001の選択に拘らず記入する。	
	10085	各社評価の本データの信頼性 (*)	当該プロジェクトデータの信頼度。	
	103	開発プロジェクトの種別 (*)	開発プロジェクトの種別(新規か改修か)。	
	104	母体システムの安定度 (*)	103が「改修・保守」の場合、母体システムの安定度。	
	105	開発プロジェクトの形態 (*)	開発プロジェクトの形態。	
	106	受託開発の場合の作業場所 (*)	105が「受託開発」の場合、その作業場所。(3つまで選択)	
開発プロジェクト全般	107	開発プロジェクトの概要	開発プロジェクトの作業概要。 ※該当するもの全てに○を選択。	ソフトウェア開発 (*) インフラ構築 (*) 移行 (*) 保守 (*) コンサルティング (*) プロジェクト管理 (*) 現地(本書システム)環境構築・調整 (*) 顧客教育 (*)
	108	新規の顧客か否か (*)		
	109	新規の業種・業務か否か (*)		
	118	外部委託先情報 (*)	資本関係有りの企業 情報を選択する。(3つまで選択)	

スクロールして下部も入力します。

(4) 最後まで入力したら、「新規保存」ボタンを押します。

ローズ : 必須項目 ページ : 条件必須 薄い黄色 : 重要 薄い緑 : 推奨 : 自動入力(入力不可)

各社採番のプロジェクトID選択 ↓

読み表示 上書保存 画面クリア 新規保存 プロジェクトデータ削除 入力データチェック

(5) 以下のダイアログが表示されますので、「OK」を押してください。

新規保存処理が開始されます。

※下記の「プロジェクト ID(6)」には、「各社採番のプロジェクト ID」に入力した値が入ります。

Microsoft Excel

10084 各社採番のプロジェクトID: プロジェクトID(6)のデータを新規に保存します。
よろしいですか?

OK キャンセル

「各社採番のプロジェクト ID」が登録済みのプロジェクトデータと重複する場合、以下のダイアログが表示され、登録できません。

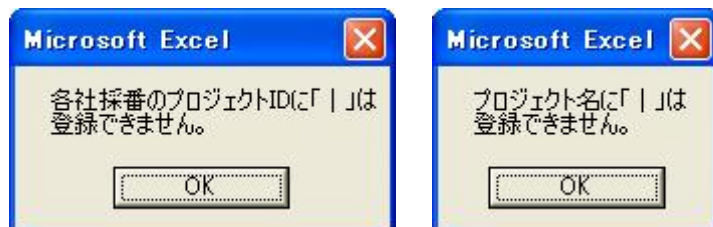
「各社採番のプロジェクト ID」を変更し、再度「新規保存」ボタンを押してください。

Microsoft Excel

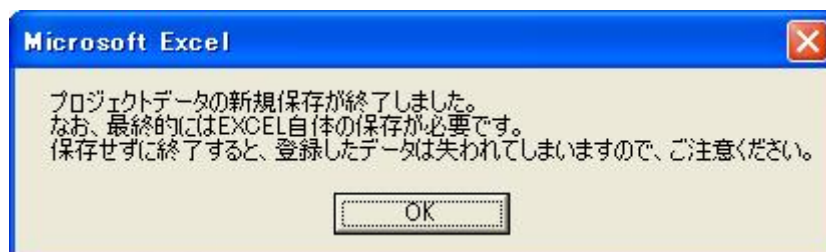
10084 各社採番のプロジェクトID: プロジェクトID(6)は既に登録されています。
同じIDで新規保存することはできません。

OK

また、「各社採番のプロジェクトID」および「プロジェクト名」に野線記号“|”は使用できません。
 使用されていた場合、それぞれ以下のダイアログが表示され、登録できません。
 (「6.6. プロジェクトの上書き保存」でも同様に上書きできません。)
 野線記号“|”を削除・変更し、再度「新規保存」(上書き時は「上書保存」)ボタンを押してください。



- (6) 処理完了までに 10 秒程度かかります。
 以下のダイアログが表示されますので、「OK」を押してください。



- (7) 新規保存処理では、「data1」、「data2」、「data3」、「data4」、「data5」にデータが書き出されます。
 以下は「data1」シートの例です

0	1	0	6	6	3	6	6	6	6	0	6
101_プロジェクトID	102_データ信頼ID	10084_各社採番のプロジェクトID	11001_全体システム・サブシステム識別フラグ	11002_グループID	10085_各社評価の本データ信頼性	103_開発プロジェクト種別	104_母体システム安定度	105_開発プロジェクト形態	105_開発プロジェクト形態_他	106_受託開発作業場所_1	
		プロジェクトID(1)	b:サブシステム		A	a:新規開発	a:システムは安定	d:実験研究試作		a:顧客先	
		プロジェクトID(2)	b:サブシステム		A	a:新規開発	c:システムは不安定	d:実験研究試作		a:顧客先	
		プロジェクトID(3)	b:サブシステム		A	a:新規開発	c:システムは不安定	d:実験研究試作		a:顧客先	
		プロジェクトID(4)	a:全体システム	616	A	b:改修・保守	a:システムは安定	b:受託開発		a:顧客先	
		プロジェクトID(5)	a:全体システム	616	A	b:改修・保守	a:システムは安定	b:受託開発		a:顧客先	
		プロジェクトID(6)	a:全体システム	616	A	b:改修・保守	a:システムは安定	b:受託開発		a:顧客先	

注意)「data1」、「data2」、「data3」、「data4」、「data5」シートは記入フォームの値だけでなく、項目の計算値も格納されています。
 本シートにて直接データを書き換えた場合、ツールが正しく動作しない可能性がありますのでデータを直接書き換えることはご遠慮ください。

6.5. プロジェクトの読込表示

登録したプロジェクトデータの呼び出しを行います。

(1) 注意事項

以降の記入フォームの画面イメージは、「記入フォーム(全体版)」のイメージです。

「記入フォーム(簡易版)」についても、操作方法は同じですので同様の操作をしてください。

また、「記入フォーム」シート内のプロジェクトデータは、「プロジェクトの新規保存」、「プロジェクトの上書保存」を行わない限り、スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール内にデータを保持しますのでご注意ください。

本操作は「記入フォーム」シート内のデータを破棄しますので、「記入フォーム」シート内のプロジェクトデータを保存したい場合は事前に「プロジェクトの新規保存」または「プロジェクトの上書保存」を行ってください。(「6.4 プロジェクトの新規保存」「6.6 プロジェクトの上書保存」を参照)

- (2) 「記入フォーム」シートの「各社採番のプロジェクトID選択」リストで読み込み対象のプロジェクトID、プロジェクト名を選択します。ここでは「プロジェクトID(1) | プロジェクト(1)(3行目)」を選択します。

ローズ : 必須項目 ベージュ : 条件必須 薄い黄色 : 重要 薄い緑 : 推奨

各社採番のプロジェクトID選択↓		読込表示	上書保存
分類	プロジェクトID(1) プロジェクト(1)(3行目)	選択式	
	プロジェクトID(2) プロジェクト(2)(4行目)		
	プロジェクトID(3) プロジェクト(3)(5行目)		
	プロジェクトID(4) プロジェクト(4)(6行目)		
	プロジェクトID(5) プロジェクト(5)(7行目)		
	プロジェクトID(6) プロジェクト(6)(8行目)		
	103 開発プロジェクトの種別 (*)		

各社にてプロジェクト
各社にてプロジェクト
例. 1-1, 1-2, ... (

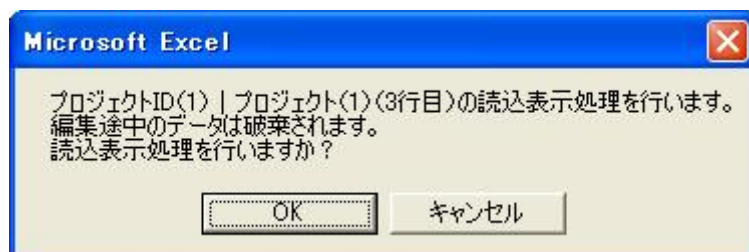
開発プロジェクトの

- (3) 「読込表示」ボタンを押します。

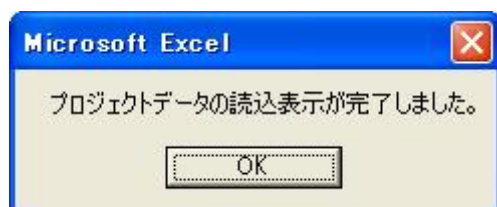
ローズ : 必須項目 ベージュ : 条件必須 薄い黄色 : 重要 薄い緑 : 推奨 自動入力(入力不可)

各社採番のプロジェクトID選択↓		読込表示	上書保存	画面クリア	新規保存	プロジェクトデータ削除
	プロジェクトID(1) プロジェクト(1)(3行目)					

- (4) 読み込み確認ダイアログが表示されますので、「OK」を押してください。
読み込み処理が開始されます。



- (5) 処理完了までに 10 秒程度かかります。
以下のダイアログが表示されますので、「OK」を押してください。



- (6) 読み込み処理では、以下のように「記入フォーム」シートにデータが読み込まれます。

分類	項目	データ項目 (○)は選択式	説 明	記入・選択欄
開発プロジェクト全般	12050 プロジェクト名	(○)は選択式	各社にてプロジェクトを識別するための名称。	プロジェクト(1)
	12004 各社担当のプロジェクトID		各社にてプロジェクトを識別するためのID。サブシステムの識別にも利用。 例: 1-1, 1-2, ... (全体システム1のサブシステムの場合)	プロジェクトID(1)
	11001 全体システム・サブシステム識別フラグ (○)		全体システムかサブシステムかを識別するフラグ。	b: サブシステム
	11002 グループID		グループIDで異なるプロジェクト間には同じグループIDを振る。 ※正の整数で、11001 の選択に拘らず記入する。	
	10085 各社評価の各データの信頼性 (○)		当該プロジェクトデータの信頼度。	A
	103 開発プロジェクトの種類 (○)		開発プロジェクトの種類(新規か改修か)。	a: 新規開発
	104 母体システムの安定度 (○)		103が「改修・保守」の場合、母体システムの安定度。	e: システムは安定している
	105 開発プロジェクトの形態 (○)		開発プロジェクトの形態。	d: 実験研究試作
	106 受託開発の場合の作業場所 (○)		105が「受託開発」の場合、その作業場所。○つまで選択。	e: 顧客先
	107 開発プロジェクトの概要	開発プロジェクトの作業概要。 ※該当するもの全てに○を選択。		ソフトウェア開発 (○)
				インフラ構築 (○)
				運用構築 (○)
				○
				移行 (○)
				保守 (○)
	108 新規の顧客か否か (○)	新規の顧客か否か。		業務支援 (○)
				コンサルティング (○)
				プロジェクト管理 (○)
				品質保証 (○)
				現地(非準システム) 現地構築・構築 (○)
				顧客教育 (○)
				その他具体的な作業
	109 新規の業務・業務か否か (○)	新規の業務・業務か否か。		a: 新規顧客
	118 外部委託先情報 (○)	外部委託先情報に、外部委託先の情報を選択する。○つまで選択。 ※系列 = 定常関係有りの企業		b: 既存業務・業務
	119 外部委託先国名	118が「c」, 「d」の場合に、国名を記述する(国名記入可) 例: 中国, インド		e: 日本企業(グループ内ノ系列)
	110 新技術協力会社か否か (○)	118が「a」以外の場合、新規の協力会社を使ったか否か。 ○つまで選択。但し、118と対応付けること。		a: 初回利用の協力会社
	111 新技術を利用する開発か否か (○)	新しい技術を利用する開発か否か。		a: 新技術利用
	112 開発プロジェクトチーム内での役割分担・責任所在の明確さ (○)	開発プロジェクトチーム内での役割分担・責任所在の明確度合い。		b: 概ね明確
	113 達成目標と優先度の明確さ (○)	納期・品質・技術開発等の達成目標と優先度の明確度合い。		c: やや不明確
	114 作業スペース (○)	プロジェクト進行環境における作業スペースの状況。		d: 備え付けスペースは普通だが、集中した思考に必要だった環境
	115 プロジェクト環境(騒音) (○)	プロジェクト進行環境における騒音・騒音の状況。		e: 騒音がひどく、必要作業中が維持できない。電話による作業中も一時中断以上の頻
	116 プロジェクト成功に対する自己評価 (○)	当該プロジェクトのOCD観点からの成功に関する総合的な自己評価。 ※成功: 適切な計画を立て、それを達成した場合。未計画の場合は、終了状態が良好であるという場合。		f: 騒音がひどく、必要作業中が維持できない。電話による作業中も一時中断以上の頻
	120 計画の評価(コスト) (○)	基本設計時点までのコスト計画の妥当性を評価する。		b: OCDのうち2つは成功
	121 計画の評価(品質) (○)	基本設計時点までの移動後品質の目標の妥当性を評価する。		a: コスト算定の根拠が明確で実行可能性を検討済み
	122 計画の評価(工期) (○)	基本設計時点までの工期計画の妥当性を評価する。		b: 品質目標が明確で実行可能性を検討済み
	123 実績の評価(コスト) (○)	コスト計画に対する実績の評価。		c: 工期計画の根拠が不明確、または実行可能性を未
	124 実績の評価(品質) (○)	品質計画(移動後品質)の目標に対する実績の評価		d: 計画の30%以内の超過
	125 実績の評価(工期) (○)	工期計画に対する実績の評価。顧客の指定した納期に対する進捗状況で評価する。		e: 計画値以下
	126 OCDの計画未達成の場合の理由 (○)	コスト、品質、工期(納期)の計画未達成の場合(例えば123がc, d, eの場合) その理由。○つまで選択。		f: 納期を10日未満遅延

6.6. プロジェクトの上書保存

登録したプロジェクトデータを修正します。

- (1) 修正するプロジェクトデータを読み込み、プロジェクトデータを修正します。
(プロジェクトデータの読み込みは「6.5 プロジェクトの読み込み」を参照)

注意) 上書保存では、データ入力エリア「各社採番のプロジェクト ID」を修正することはできません。

- (2) 「上書保存」ボタンを押します。

■ 必須項目
 ■ ページ
 ■ 条件必須
 ■ 濃い黄色
 ■ 重要
 ■ 濃い緑
 ■ 推奨
 ■ 自動入力(入力不可)

各社採番のプロジェクトID選択 ↓		読み表示	上書保存	画面クリア	新規保存	プロジェクト データ削除
プロジェクトID(1) プロジェクト(1)(3行目)						
項番	データ項目	説明				

注意) 上書保存ではプルダウン「各社採番のプロジェクト ID 選択」で選択したプロジェクト ID に対して行われます。データ入力エリア「各社採番のプロジェクト ID」に対する書き込みではありません。注意してください。

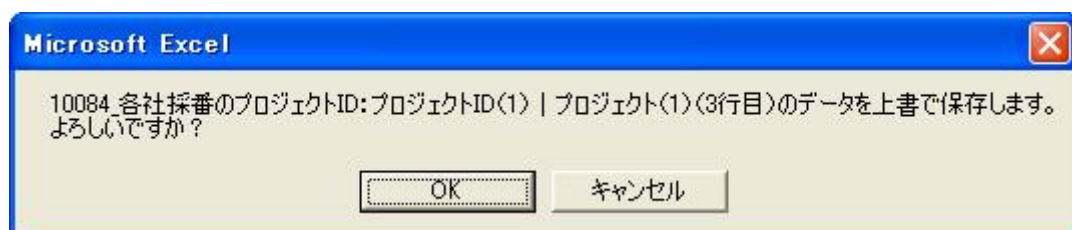
編集 中

各社採番のプロジェクトID選択 ↓		読み表示	上書保存	画面クリア	新規保存	プロジェクト データ削除	入力データ チェック
プロジェクトID(1) プロジェクト(1)(3行目)							
分類	項番	データ項目	説明				
	12050	プロジェクト名	各社にてプロジェクトを識別するための名称。			プロジェクト(1)	
	10084	各社採番のプロジェクトID	各社にてプロジェクトを識別するためのID。サブシステムの識別にも利用。 例: 1-1-1-2... (全体システム1のサブシステムの場合)			プロジェクトID(1)	
	11001	全体システム・サブシステム識別フラグ(*)	全体システムかサブシステムかを識別するフラグ。			b: サブシステム	
	11002	グルーピングID	グルーピングできるプロジェクト群には同じグループIDを振る。 ※正の整数で、11001の選択に拘らず記入する。				
	10085	各社評価の本データの信頼性(*)	当該プロジェクトデータの信頼度。			A	
	103	開発プロジェクトの種別(*)	開発プロジェクトの種別(新規か改修か)。			a: 新規開発	
	104	母体システムの安定度(*)	103が「改修・保守」の場合、母体システムの安定度。			d: 母体の安定度を把握していない	

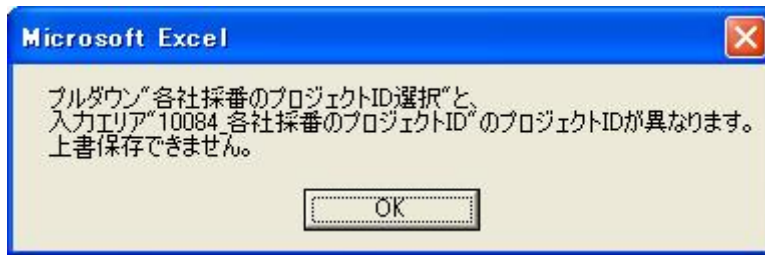
プルダウンで選択されたプロジェクト ID に対して上書保存します。

このプロジェクト ID に対する書き込みではありません。

- (3) 上書保存確認ダイアログが表示されますので、「OK」を押してください。
書き出し処理が開始されます。

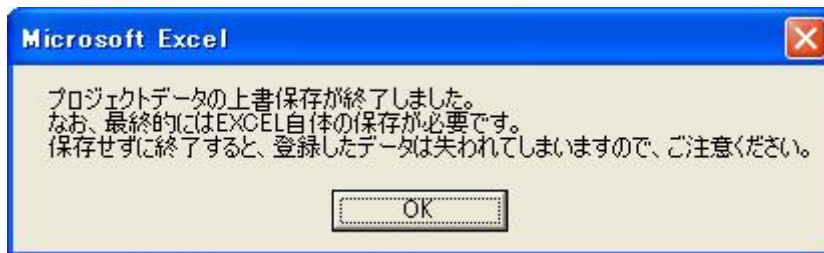


※プルダウン「各社採番のプロジェクト ID 選択」と入力エリアの「各社採番のプロジェクト ID」が異なる場合、以下のメッセージが表示されます。



この時、「OK」ボタンを押すと、入力エリアのプロジェクトIDは無視され、プルダウン「各社採番のプロジェクト ID 選択」で選択されたプロジェクト ID のデータに対して、上書保存を行います。ご注意ください。

- (4) 処理完了までに 10 秒程度かかります。
以下のダイアログが表示されますので、「OK」を押してください。



- (5) 上書保存処理では、「data1」、「data2」、「data3」、「data4」、「data5」シートの(1)で選択したプロジェクト ID の行にデータが上書きされます。
以下は「data1」シートの例です。

01:総件数	01	6	6	3	6	6	6	6	01	6
101_プロジェクトID	102_データ信頼性	10084_各社採番のプロジェクトID	11001_全体システム・サブシステム識別番号	11002_グループID	10085_各社評価の本データ信頼性	103_開発プロジェクト種別	104_母体システム安定度	105_開発プロジェクト形態	105_開発プロジェクト形態_他	106_受託開発
		プロジェクトID(1)b:サブシステム			A	a:新規開発	a:システムは安定	d:実験研究試作		a:顧客先
		プロジェクトID(2)b:サブシステム			A	a:新規開発	c:システムは不安定	d:実験研究試作		a:顧客先
		プロジェクトID(3)b:サブシステム			A	a:新規開発	c:システムは不安定	d:実験研究試作		a:顧客先
		プロジェクトID(4)a:全体システム		616	A	b:改修・保守	a:システムは安定	b:受託開発		a:顧客先
		プロジェクトID(5)a:全体システム		616	A	b:改修・保守	a:システムは安定	b:受託開発		a:顧客先
		プロジェクトID(6)a:全体システム		616	A	b:改修・保守	a:システムは安定	b:受託開発		a:顧客先

6.7. プロジェクトデータのコピー

登録済みのプロジェクトデータを元に別のプロジェクト ID として新規登録します。

- (1) コピー元となるプロジェクトデータを読み込みます。
(「6.5 プロジェクトの読込表示」を参照)

各社採番のプロジェクトID選択 ↓			
プロジェクトID(1) プロジェクト(1) (3行目)			
項番	データ項目	(*)は選択式	説明
12050	プロジェクト名		各社にてプロジェクトを識別するための名称。
10084	各社採番のプロジェクトID		各社にてプロジェクトを識別するためのID。サブシステムの識別にも利用。
11001	全体システム・サブシステム識別フラグ (*)		システムの場合) フラグ。
11002	グルーピングID		グループIDを振る。
10085	各社評価の本データの信頼性 (*)		
103	開発プロジェクトの種別 (*)		
104	母体システムの安定度 (*)		103が「改修・保守」の場合、母体システムの安定度。
105	開発プロジェクトの形態 (*)		開発プロジェクトの形態。
106	受託開発の場合の作業場所 (*)		105が「受託開発」の場合、その作業場所。(3つまで選択)

Microsoft Excel
プロジェクトデータの読込表示が完了しました。
OK

- (2) データ入力エリアの「各社採番のプロジェクト ID」を新しいプロジェクト ID に変更します。
(プロジェクト ID は重複しないように設定してください。)

各社採番のプロジェクトID選択 ↓			
プロジェクトID(1) プロジェクト(1) (3行目)			
項番	データ項目	(*)は選択式	説明
12050	プロジェクト名		各社にてプロジェクトを識別するための名称。
10084	各社採番のプロジェクトID		各社にてプロジェクトを識別するためのID。サブシステムの識別にも利用。 例. 1-1, 1-2, ... (全体システム1のサブシステムの場合)
11001	全体システム・サブシステム識別フラグ (*)		全体システムかサブシステムかを識別するフラグ。
11002	グルーピングID		グルーピングできるプロジェクト群には同じグループIDを振る。 ※正の整数で、11001の選択に拘らず記入する。
10085	各社評価の本データの信頼性 (*)		当該プロジェクトデータの信頼度。
103	開発プロジェクトの種別 (*)		開発プロジェクトの種別(新規が改修か)。
104	母体システムの安定度 (*)		103が「改修・保守」の場合、母体システムの安定度。
105	開発プロジェクトの形態 (*)		開発プロジェクトの形態。

- (3) 「新規保存」ボタンを押します。

各社採番のプロジェクトID選択 ↓			
プロジェクトID(1) プロジェクト(1) (3行目)			
項番	データ項目	(*)は選択式	説明
12050	プロジェクト名		各社にてプロジェクトを識別するための名称。
10084	各社採番のプロジェクトID		各社にてプロジェクトを識別するためのID。サブシステムの識別にも利用。 例. 1-1, 1-2, ... (全体システム1のサブシステムの場合)
11001	全体システム・サブシステム識別フラグ (*)		全体システムかサブシステムかを識別するフラグ。
11002	グルーピングID		グルーピングできるプロジェクト群には同じグループIDを振る。 ※正の整数で、11001の選択に拘らず記入する。
10085	各社評価の本データの信頼性 (*)		当該プロジェクトデータの信頼度。
103	開発プロジェクトの種別 (*)		開発プロジェクトの種別(新規が改修か)。
104	母体システムの安定度 (*)		103が「改修・保守」の場合、母体システムの安定度。
105	開発プロジェクトの形態 (*)		開発プロジェクトの形態。

- (4) 以下のダイアログが表示されますので、「OK」を押してください。
新規保存処理が開始されます。

Microsoft Excel

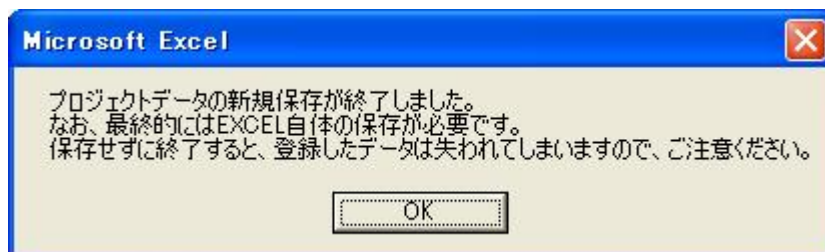
10084 各社採番のプロジェクトID:プロジェクトID(5)のデータを新規に保存します。
よろしいですか?

OK キャンセル

※「各社採番のプロジェクトID」が登録済みのプロジェクトデータと重複する場合、以下のダイアログが表示され、登録できません。
「各社採番のプロジェクトID」を変更し、再度「新規保存」ボタンを押してください。



- (5) 処理完了までに10秒程度かかります。
以下のダイアログが表示されますので「OK」を押してください。



- (6) (1)で読み込んだプロジェクトデータを元に「data1」、「data2」、「data3」、「data4」、「data5」にデータが書き出されます。以下は「data1」シートの例です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	0	総件数	0	5	5	5	5	5	5	5	0	5
2	ID	トID 事務局	性 事務局	ID	テム識別フラ	ングID	の信頼性	プロジェクト種別	ム安定度	プロジェクト形態	名称	作業場所 1
3				project01	b:サブシステム		1 C	a:新規開発	b:システムは安	a:商用パッケージ開発		b:自社
4				project02	a:全体システム		2 A	c:再開発	a:システムは安	a:その他		b:自社
5				project03	a:全体システム		3 D	a:新規開発	d:母体の安定度	c:インハウスソース		a:顧客先
6				project04	a:全体システム		4 B	d:拡張	c:システムは安	d:実験研究試作		c:その他
7				project05	b:サブシステム		1 C	a:新規開発	b:システムは安	a:商用パッケージ開発		b:自社
8												

6.8. 記入フォームシートのクリア

画面上の記入フォームの項目のクリアし、初期状態にします。

- (1) 「記入フォーム」シートの「画面クリア」ボタンを押します。

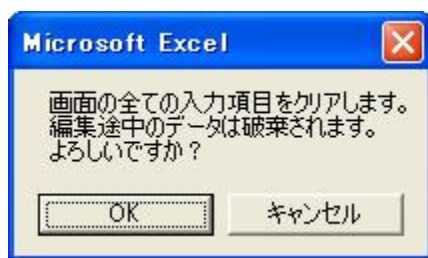
ローズ
：必須項目
ページ
：条件必須
薄い黄色
：重要
薄い緑
：推奨
薄い紫
：自動入力(入力不可)

各社採番のプロジェクトID選択 ↓
 読込表示
上書保存
画面クリア
新規保存
プロジェクト
データ削除
入力データ
チェック

編集... プロジェクトID(1) | プロジェクト(1) (3行目)

分類	項番	データ項目	(*)は選択式	説明	
開発 プロジェクト 全般	108	新規の顧客が否か (*)		新規の顧客が否か。	a: 新規顧客
	109	新規の業種・業務が否か (*)		新規の業種・業務が否か。	b: 既存業種・業種
	118	外部委託先情報 (*)		外部委託が有る場合に、外部委託先の情報を選択する。(3つまで選択) ※系列 = 資本関係有りの企業	a: 日本企業(グループ内／系列)
	119	外部委託先国名		118が「c」、「d」の場合に、国名を記述する(複数記入可) 例: 中国、インド	
	110	新規協力会社か否か (*)		118が「e」以外の場合、新規の協力会社を使ったか否か。 (3つまで選択、但し、118と対応付けること)	a: 初回利用の協力会社
	111	新技術を利用する開発が否か (*)		新しい技術を利用する開発が否か。	a: 新技術を利用
	112	開発プロジェクトチーム内での役割分担・責任所在の明確さ (*)		開発プロジェクトチーム内での役割分担・責任所在の明確度合い。	b: 概ね明確
	113	達成目標と優先度の明確さ (*)		納期・品質・技術開発等の達成目標と優先度の明確度合い。	c: やや不明確

- (2) クリア確認メッセージが表示されますので、OK を押してください。



- (3) 画面クリア処理が行われます。数秒で完了します。

注意) スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール内のプロジェクトデータは削除されていません。
プロジェクトデータを削除する場合は、「6.8 プロジェクトデータの削除」を参照してください。

開発
ノロエン
ト
全般

6.9. プロジェクトデータの削除

(1) 注意事項

プロジェクトデータの削除を行うと、「data1」、「data2」、「data3」、「data4」、「data5」シートに書き出されているプロジェクトデータが削除されます。

これにより、一度削除したプロジェクトは再度読み込みを行うことができません。ご注意ください。

間違って削除してしまったプロジェクトデータは、復元させることができません。

(2) 削除したいプロジェクトデータを読み込みます。

(「6.5. プロジェクトの読込表示」を参照)

(3) プロジェクトデータを読み込むと、「プロジェクトデータ削除」ボタンが有効になります。

「プロジェクトデータ削除」ボタンを押します。

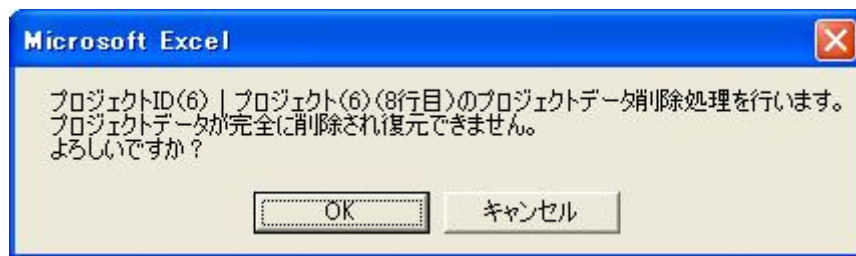
● 必須項目
 ● ページ
 ● 条件必須
 ● 薄い黄色
 ● 重要
 ● 薄い緑
 ● 推奨
 ● 自動入力(入力不可)

各社採番のプロジェクトID選択 ↓

読込表示
上書保存
画面クリア
新規保存
プロジェクトデータ削除
入カデータチェック

分類	項番	データ項目	(*)は選択式	説 明	
	12050	プロジェクト名		各社にてプロジェクトを識別するための名称。	プロジェクト(6)
	10084	各社採番のプロジェクトID		各社にてプロジェクトを識別するためのID。サブシステムの識別にも利用。例. 1-1, 1-2, ... (全体システム1のサブシステムの場合)	プロジェクトID(6)
	11001	全体システム・サブシステム識別フラグ (*)		全体システムかサブシステムかを識別するフラグ。	a: 全体システム
	11002	グループID		グループIDであるプロジェクト群には同じグループIDを振る。 ※正の整数で、11001の選択に拘らず記入する。	616
	10085	各社評価の本データの信頼性 (*)		当該プロジェクトデータの信頼度。	A
	103	開発プロジェクトの種別 (*)		開発プロジェクトの種別(新規か改修か)。	b: 改修・保守
	104	母体システムの安定度 (*)		103が「改修・保守」の場合、母体システムの安定度。	a: システムは安定している
	105	開発プロジェクトの形態 (*)		開発プロジェクトの形態。	b: 受託開発
	106	受託開発の場合の作業場所 (*)		105が「受託開発」の場合、その作業場所。③つまで選択	a: 顧客先
					ソフトウェア開発 (*)
					○

- (4) 削除確認ダイアログが表示されますので、「OK」を押してください。
削除処理が開始されます。



- (5) 処理完了までに 10 秒程度かかります。
以下のダイアログが表示されますので、「OK」を押してください。



必須項目	ページ	淡い黄色	重要	薄い緑	確認	自動入力(入力不可)	記入フォーム Ver.4.1 (2008-8-31)		
各社担当のプロジェクトID選択 ↓							プロジェクト データベース 参照	入力データ チェック	Copyright (C) 2009-2011 IPA SEG. All rights reserved.
分類	章番号	データ項目 (○は選択式)	説 明				記入・選択欄		
開発 /ドメイン 全般	12050	プロジェクト名	各社にてプロジェクトを識別するための名称。						
	10084	各社担当のプロジェクトID	各社にてプロジェクトを識別するためのID。サブシステムの識別にも利用。 例: T-1, T-2, ... (全体システムAのサブシステムの場合)						
	11001	全体システム・サブシステム識別フラグ (★)	全体システムかサブシステムかを識別するフラグ。						
	11002	グルーピングID	グルーピングできるプロジェクト群には同じグルーピングIDを振る。 ※正の整数で、11001の選択に拘らず記入する。						
	10085	各社評価の本データの信頼性 (★)	当該プロジェクトデータの信頼度。						
	103	開発プロジェクトの種別 (★)	開発プロジェクトの種別(新規が改善)。						
	104	母体システムの安定度 (★)	103が「改善・保守」の場合、母体システムの安定度。						
	105	開発プロジェクトの形態 (★)	開発プロジェクトの形態。						←その他、具体的な名称
	106	受託開発の場合の作業場所 (★)	105が「受託開発」の場合、その作業場所。○つまで選択)						
	107	開発プロジェクトの概要	開発プロジェクトの作業概要。 ※該当するもの全てに○を選択。				ソフトウェア開発 (★)	インフラ構築 (★)	運用構築 (★)
							移行 (★)	保守 (★)	業務支援 (★)
							コンサルティング (★)	プロジェクト管理 (★)	品質保証 (★)
							現地(本番システム)環境構築・調整 (★)	顧客教育 (★)	その他具体的な作業
	108	新規の顧客が否か (★)	新規の顧客が否か。						
109	新規の業種・業務が否か (★)	新規の業種・業務が否か。							
118	外部委託先情報 (★)	外部委託がある場合に、外部委託先の情報を選択する。○つまで選択) ※系列 = 受委託関係の系列							
119	外部委託先国名	118が「c」, 「d」の場合に、国名を記述する(国数記入可) 例、中国、インド							
110	新規協力会社が否か (★)	118が「e」以外の場合、新規の協力会社を使ったか否か。 ○つまで選択。但し、118と対応付けること)							

	0	1	5	5	2	5	5	5	5	0	5
	01_総件数										
101_プロジェクトID	101_事務局	102_データ情報性事務局	10084_各社探番のプロジェクトID	11001_全社システムサブシステム識別コード	11002_グループID	10085_各社評価の本データの信頼性	103_開発プロセス種別	104_母体システム安定度	105_開発プロセス形態	106_開発プロジェクト形態、他名称	107_受託開発作業場所
ID	ID	ID	ID	ID	ID						
			プロジェクトID(1:b:サブシステム)	A		a:新規開発	a:システム安定度	d:実験研究試作	a:顧客先		
			プロジェクトID(2:b:サブシステム)	A		c:システム不	e:システム不	d:実験研究試作	a:顧客先		
			プロジェクトID(3:b:サブシステム)	A		c:新規開発	e:システム不	d:実験研究試作	a:顧客先		
			プロジェクトID(4:a:全社システム)	616 A		b:改修・保守	a:システム安定度	e:受託開発	a:顧客先		
			プロジェクトID(5:a:全社システム)	616 A		b:改修・保守	a:システム安定度	e:受託開発	a:顧客先		

“プロジェクト ID(6)”が
削除されます。

[illegible]

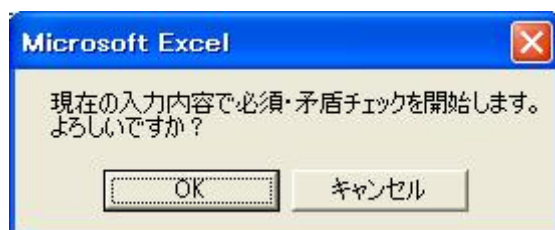
6.10. 入力データチェック

記入フォームに入力されたデータに対し、「必須チェック」、「矛盾チェック」を行ないます。

- (1) 「記入フォーム」シートの「入力データチェック」ボタンを押します。

ローズ	必須項目	ページ	条件必須	薄い黄色	重要	薄い緑	推奨	自動入力(入力不可)
編集...	各社採番のプロジェクトID選択↓							記入
分類	項番	データ項目	(*)は選択式	説明				Copy
全般	118	外部委託先情報 (*)	外部委託が有る場合に、外部委託先の情報を選択する。(3つまで選択) ※系列=資本関係有りの企業				a: 日本企業(グループ内/系列)	
	119	外部委託先国名	118が「c」、「d」の場合に、国名を記述する(複数記入可)。 例、中国、インド					
	110	新規協力会社か否か (*)	118が「e」以外の場合、新規の協力会社を使ったか否か。 (3つまで選択。但し、118と対応付けること)				a: 初回利用の協力会社	
	111	新技術を利用する開発か否か (*)	新しい技術を利用する開発か否か。				a: 新技術を利用	
	112	開発プロジェクトチーム内での役割分担・責任所在の明確さ (*)	開発プロジェクトチーム内での役割分担・責任所在の明確度合い。				a: 非常に明確	

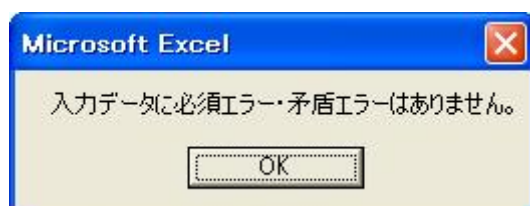
- (2) 必須・矛盾チェック開始確認メッセージが表示されますので、OK を押してください。



- (3) 必須・矛盾チェック処理が開始されます。
必須・矛盾チェック完了後の操作は、チェック結果により異なります。

① 必須エラー無し、矛盾エラー無しの場合

- (i) 必須エラー、矛盾エラーがなかった旨のメッセージが表示されます。
「OK」を押してください。



② 必須エラー有り、矛盾エラー無しの場合

(i) 必須エラーがある旨のメッセージが表示されます。「OK」を押してください。



(ii) 「データ精査（必須チェック）」シートを表示します。エラー内容を確認し、エラー原因を取り除いてください。

このボタンを押すと、dataシートに入力されている(データ保存済の)全プロジェクトについて、必須項目のチェックが実行されます。 ※100プロジェクトで、2分程度かかります。(エラーの数により時間は変わります。)						
データ精査 (必須チェック)						
データ精査(必須チェック)結果 (エラーがある場合、下表に内容が表示されます。)						
エラー件数: 28 件						
精査開始: 2009/8/20 12:35						
No.	プロジェクトID	データ項目 (項番,項目名)	記入フォーム の場所 セル名	dataシート の場所 シート名	セル名	エラー内容
1		10084 各社採番のプロジェクトID	\$M\$6			Error 1901 必須項目です。値を入力してください。
2		11001 金庫システム・サブシステム識別フラグ	\$M\$7			Error 1902 必須項目です。値を照れしてください。
3		109 開発プロジェクトの種類	\$M\$10			Error 1903 必須項目です。値を照れしてください。
4		105 開発プロジェクトの形態	\$M\$12			Error 1904 必須項目です。値を照れしてください。
5		107 開発プロジェクトの概要	\$M\$15			Error 1906 必須項目です。いずれか一つ以上の作業概要に、“○”を入力してください。
6		201 業種	\$M\$47			Error 1913 必須項目です。値を照れしてください。

③ 必須エラー無し、矛盾エラー有りの場合

(i) 矛盾エラーがある旨のメッセージが表示されます。「OK」を押してください。

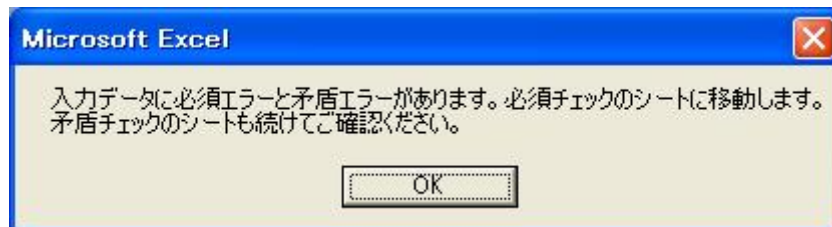


(ii) 「データ精査（矛盾チェック）」シートを表示します。エラー内容を確認し、エラー原因を取り除いてください。

このボタンを押すと、dataシートに入力されている(データ保存済の)全プロジェクトについて、データ間の矛盾性のチェックが実行されます。 ※100プロジェクトで、2分程度かかります。(エラーの数により時間は変わります。)						
データ精査 (矛盾チェック)						
データ精査(矛盾チェック)結果 (エラーがある場合、下表に内容が表示されます。)						
エラー件数: 1 件						
精査開始: 2009/8/20 12:35						
No.	プロジェクトID	データ項目 (項番,項目名)	記入フォーム の場所 セル名	dataシート の場所 シート名	セル名	エラー内容
1		10041 実績工数(総計)プロジェクト全体	\$N\$214			Error 3094 いずれの工程にも工数が入力されていません。工数を入力してください。

④ 必須エラー有り、矛盾エラー有りの場合

- (i) 必須エラー、矛盾エラーがある旨のメッセージが表示されます。
「OK」を押してください。



- (ii) 「データ精査（必須チェック）」シートを表示します。エラー内容を確認し、エラー原因を取り除いてください。

このボタンを押すと、dataシートに入力されている(データ保存済の)全プロジェクトについて、必須項目のチェックが実行されます。 ※100プロジェクトで、2分程度かかります。(エラーの数により時間は変わります。)									
データ精査 (必須チェック)									
データ精査(必須チェック)結果 (エラーがある場合、下表に内容が表示されます。)									
エラー件数: 28 件									
精査開始: 2009/8/20 12:35									
No.	プロジェクトID	データ項目 (項番,項目名)	記入フォーム の場所 セル名	dataシート の場所 シート名	セル名	種類	エラーID	エラー内容	
1		10084 各社採番のプロジェクトID	\$M\$6			Error	1901	必須項目です。値を入力してください。	
2		11001 全体システム・サブシステム識別フラグ	\$M\$7			Error	1902	必須項目です。値を選択してください。	
3		103 開発プロジェクトの種別	\$M\$10			Error	1903	必須項目です。値を選択してください。	
4		105 開発プロジェクトの形態	\$M\$12			Error	1904	必須項目です。値を選択してください。	
5		107 開発プロジェクトの概要	\$M\$15			Error	1906	必須項目です。いずれか1つ以上の作業概要に、“○”を入力してください。	
6		201 業種	\$M\$47			Error	1913	必須項目です。値を選択してください。	

- (iii) 「データ精査（必須チェック）」シートを確認後、「データ精査（矛盾チェック）」シートを確認し、エラー原因を取り除いてください。

このボタンを押すと、dataシートに入力されている(データ保存済の)全プロジェクトについて、データ間の矛盾性のチェックが実行されます。 ※100プロジェクトで、2分程度かかります。(エラーの数により時間は変わります。)									
データ精査 (矛盾チェック)									
データ精査(矛盾チェック)結果 (エラーがある場合、下表に内容が表示されます。)									
エラー件数: 1 件									
精査開始: 2009/8/20 12:35									
No.	プロジェクトID	データ項目 (項番,項目名)	記入フォーム の場所 セル名	dataシート の場所 シート名	セル名	種類	エラーID	エラー内容	
1		10041 実績工数(総計)プロジェクト全体	\$N\$214			Error	3094	いずれの工程にも工数が入力されていません。工数を入力してください。	


6.11. 図表の作成

(1) 注意事項

あらかじめ「記入フォーム」シートの編集データの「新規保存」「上書保存」を行ったか確認してください。

図表作成は、保存されていないデータは図表作成の対象にしません。

(2) 「図表選択」シート“表示対象図表”から作成する図表にチェックをします。

※図表の“選択”チェックボックス  を選ぶと、全ての図表を選択することができます。

「表示対象図表」から図表を選択し、図表作成ボタンを押下すると対象の図表シートに図表を作成します。

表示対象を絞り込む場合は、「絞り込み条件」にて条件を設定してください。

図表選択ツール Ver.4.1 (2009-8-31)
Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC. All rights reserved.

図表名	種類	選択	図表表示
工数一工期 (※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一工数 (FP) (※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一工数 (SLOG) (※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一生産性 (FP) (※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一生産性 (SLOG) (※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
工程別月数比	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
工程別工数比	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一発生不具合数 (FP)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一発生不具合数 (SLOG)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一発生不具合率 (FP)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一発生不具合率 (SLOG)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
レビュー指摘件数 (FP)	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
レビュー指摘件数 (SLOG)	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
レビュー指摘件数 (工数)	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

対象工程 (※1の図表で使用)

基本設計

総合テスト (ベンダ確認)

項目名	条件
種別	<input type="checkbox"/> a: 新規開発 <input type="checkbox"/> b: 改修・保守 <input type="checkbox"/> c: 再開発 <input type="checkbox"/> d: 拡張
業種	<input type="checkbox"/> A: 農業 <input type="checkbox"/> B: 林業 <input type="checkbox"/> C: 漁業 <input type="checkbox"/> D: 鉱業 <input type="checkbox"/> E: 建設業 <input type="checkbox"/> F: 製造業 <input type="checkbox"/> G: 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> H: 情報通信業 <input type="checkbox"/> I: 運輸業 <input type="checkbox"/> J: 卸売・小売業 <input type="checkbox"/> K: 金融・保険業 <input type="checkbox"/> L: 不動産業 <input type="checkbox"/> M: 飲食店・宿泊業 <input type="checkbox"/> N: 医療・福祉 <input type="checkbox"/> O: 教育・学習支援業 <input type="checkbox"/> P: 総合サービス事業 <input type="checkbox"/> Q: サービス業 (他に分類されないもの) <input type="checkbox"/> R: 公務 (他に分類されないもの) <input type="checkbox"/> S: 分類不能の産業
アーキテクチャ	<input type="checkbox"/> a: スタンドアロン <input type="checkbox"/> b: メインフレーム <input type="checkbox"/> c: 2階層クライアント/サーバ <input type="checkbox"/> d: 3階層クライアント/サーバ <input type="checkbox"/> e: インtranet/インターネット <input type="checkbox"/> f: その他
開発対象プラットフォーム	<input type="checkbox"/> a: Windows95/98/Me系 <input type="checkbox"/> b: WindowsNT/2000/XP系 <input type="checkbox"/> c: Windows Server 2003 <input type="checkbox"/> d: HP-UX <input type="checkbox"/> e: HCL-UX <input type="checkbox"/> f: AIX <input type="checkbox"/> g: Solaris <input type="checkbox"/> h: Redhat Linux <input type="checkbox"/> i: SUSE Linux <input type="checkbox"/> j: Mirasol Linux <input type="checkbox"/> k: Turbo Linux <input type="checkbox"/> l: その他Linux <input type="checkbox"/> m: Linux <input type="checkbox"/> n: その他UNIX系 <input type="checkbox"/> o: VMS <input type="checkbox"/> p: IBS <input type="checkbox"/> q: TRON <input type="checkbox"/> r: オフコン <input type="checkbox"/> s: その他OS
言語	<input type="checkbox"/> a: アセンブラ <input type="checkbox"/> b: COBOL <input type="checkbox"/> c: PL/I <input type="checkbox"/> d: ProC <input type="checkbox"/> e: C++ <input type="checkbox"/> f: Visual C++ <input type="checkbox"/> g: C言語 <input type="checkbox"/> h: VB <input type="checkbox"/> i: Excel (VBA) <input type="checkbox"/> j: InputMan <input type="checkbox"/> k: PL/SQL <input type="checkbox"/> l: ABAP <input type="checkbox"/> m: C# <input type="checkbox"/> n: Visual Basic .NET <input type="checkbox"/> o: Java <input type="checkbox"/> p: Perl <input type="checkbox"/> q: Shellスクリプト <input type="checkbox"/> r: Delphi <input type="checkbox"/> s: HTML <input type="checkbox"/> t: XML <input type="checkbox"/> u: その他の言語
リリース年	年～ 年

※上の対象工程で選択した工程に対して実績日が正しく入力されていることをご確認ください。

(3) 表示対象図表に「工数一工期」「規模一工数」「規模一生産性」のいずれかを選択した場合、作成する図表の対象工程を選択することが可能です。

(初期状態は5工程(基本設計～総合試験(ベンダ確認))です)

「表示対象図表」から図表を選択し、図表作成ボタンを押下すると対象の図表シートに図表を作成します。

表示対象を絞り込む場合は、「絞り込み条件」にて条件を設定してください。

図表選択ツール Ver.4.1 (2009-8-31)
Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC. All rights reserved.

図表名	種類	選択	図表表示
工数一工期 (※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一工数 (FP) (※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一工数 (SLOG) (※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一生産性 (FP) (※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一生産性 (SLOG) (※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
工程別月数比	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
工程別工数比	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一発生不具合数 (FP)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一発生不具合数 (SLOG)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一発生不具合率 (FP)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模一発生不具合率 (SLOG)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
レビュー指摘件数 (FP)	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
レビュー指摘件数 (SLOG)	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
レビュー指摘件数 (工数)	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

対象工程 (※1の図表で使用)

基本設計

総合テスト (ベンダ確認)

項目名	条件
種別	<input type="checkbox"/> a: 新規開発 <input type="checkbox"/> b: 改修・保守 <input type="checkbox"/> c: 再開発 <input type="checkbox"/> d: 拡張
業種	<input type="checkbox"/> A: 農業 <input type="checkbox"/> B: 林業 <input type="checkbox"/> C: 漁業 <input type="checkbox"/> D: 鉱業 <input type="checkbox"/> E: 建設業 <input type="checkbox"/> F: 製造業 <input type="checkbox"/> G: 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> H: 情報通信業 <input type="checkbox"/> I: 運輸業 <input type="checkbox"/> J: 卸売・小売業 <input type="checkbox"/> K: 金融・保険業 <input type="checkbox"/> L: 不動産業 <input type="checkbox"/> M: 飲食店・宿泊業 <input type="checkbox"/> N: 医療・福祉 <input type="checkbox"/> O: 教育・学習支援業 <input type="checkbox"/> P: 総合サービス事業 <input type="checkbox"/> Q: サービス業 (他に分類されないもの) <input type="checkbox"/> R: 公務 (他に分類されないもの) <input type="checkbox"/> S: 分類不能の産業
アーキテクチャ	<input type="checkbox"/> a: スタンドアロン <input type="checkbox"/> b: メインフレーム <input type="checkbox"/> c: 2階層クライアント/サーバ <input type="checkbox"/> d: 3階層クライアント/サーバ <input type="checkbox"/> e: インtranet/インターネット <input type="checkbox"/> f: その他
開発対象プラットフォーム	<input type="checkbox"/> a: Windows95/98/Me系 <input type="checkbox"/> b: WindowsNT/2000/XP系 <input type="checkbox"/> c: Windows Server 2003 <input type="checkbox"/> d: HP-UX <input type="checkbox"/> e: HCL-UX <input type="checkbox"/> f: AIX <input type="checkbox"/> g: Solaris <input type="checkbox"/> h: Redhat Linux <input type="checkbox"/> i: SUSE Linux <input type="checkbox"/> j: Mirasol Linux <input type="checkbox"/> k: Turbo Linux <input type="checkbox"/> l: その他Linux <input type="checkbox"/> m: Linux <input type="checkbox"/> n: その他UNIX系 <input type="checkbox"/> o: VMS <input type="checkbox"/> p: IBS <input type="checkbox"/> q: TRON <input type="checkbox"/> r: オフコン <input type="checkbox"/> s: その他OS
言語	<input type="checkbox"/> a: アセンブラ <input type="checkbox"/> b: COBOL <input type="checkbox"/> c: PL/I <input type="checkbox"/> d: ProC <input type="checkbox"/> e: C++ <input type="checkbox"/> f: Visual C++ <input type="checkbox"/> g: C言語 <input type="checkbox"/> h: VB <input type="checkbox"/> i: Excel (VBA) <input type="checkbox"/> j: InputMan <input type="checkbox"/> k: PL/SQL <input type="checkbox"/> l: ABAP <input type="checkbox"/> m: C# <input type="checkbox"/> n: Visual Basic .NET <input type="checkbox"/> o: Java <input type="checkbox"/> p: Perl <input type="checkbox"/> q: Shellスクリプト <input type="checkbox"/> r: Delphi <input type="checkbox"/> s: HTML <input type="checkbox"/> t: XML <input type="checkbox"/> u: その他の言語
リリース年	年～ 年

※上の対象工程で選択した工程に対して実績日が正しく入力されていることをご確認ください。

- (4) 図表対象のデータを絞り込む場合は、右側の“絞り込み条件”から対象のデータを抽出する条件を選択します。

図表作成 「表示対象図表」から図表を選択し、図表作成ボタンを押下すると対象の図表シートに図表を作成します。
表示対象を絞り込む場合は、「絞り込み条件」にて条件を設定してください。

図表選択ツール Ver.4.1 (2009-8-31)
Copyright (C) 2009-2011 IPA SEG. All rights reserved.

表示対象図表			
図表名	種類	選択	図表表示
工期-工期(※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模-工期(FP)(※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模-工期(SLOC)(※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模-生産性(FP)(※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模-生産性(SLOC)(※1)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
工程別月数比	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
工程別工数比	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模-発生不具合数(FP)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模-発生不具合数(SLOC)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模-発生不具合密度(FP)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
規模-発生不具合密度(SLOC)	散布図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
レビュー指摘件数(FP)	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
レビュー指摘件数(SLOC)	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
レビュー指摘件数(工数)	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

対象工程(※1の図表で使用)
基本設計
}

総合テスト(ベンダ確認)

絞り込み条件	
項目名	条件
種別	<input type="checkbox"/> a: 新規開発 <input type="checkbox"/> b: 改修・保守 <input type="checkbox"/> c: 再開発 <input type="checkbox"/> d: 拡張
業種	<input type="checkbox"/> A: 農業 <input type="checkbox"/> B: 林業 <input type="checkbox"/> C: 漁業 <input type="checkbox"/> D: 鉱業 <input type="checkbox"/> E: 建設業 <input type="checkbox"/> F: 製造業 <input type="checkbox"/> G: 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> H: 情報通信業 <input type="checkbox"/> I: 運輸業 <input type="checkbox"/> J: 卸売・小売業 <input type="checkbox"/> K: 金融・保険業 <input type="checkbox"/> L: 不動産業 <input type="checkbox"/> M: 飲食店・宿泊業 <input type="checkbox"/> N: 医療・福祉 <input type="checkbox"/> O: 教育・学習支援業 <input type="checkbox"/> P: 総合サービス事業 <input type="checkbox"/> Q: サービス業(他に分類されないもの) <input type="checkbox"/> R: 公務(他に分類されないもの) <input type="checkbox"/> S: 分類不能の産業
アーキテクチャ	<input type="checkbox"/> a: スタンドアロン <input type="checkbox"/> b: メインフレーム <input type="checkbox"/> c: 2階層クライアント/サーバ <input type="checkbox"/> d: 3階層クライアント/サーバ <input type="checkbox"/> e: イントラネット/インターネット <input type="checkbox"/> f: その他
開発対象プラットフォーム	<input type="checkbox"/> a: Windows95/98/Me系 <input type="checkbox"/> b: WindowsNT/2000/XP系 <input type="checkbox"/> c: Windows Server 2003 <input type="checkbox"/> d: HP-UX <input type="checkbox"/> e: HI-UX <input type="checkbox"/> f: AIX <input type="checkbox"/> g: Solaris <input type="checkbox"/> h: Redhat Linux <input type="checkbox"/> i: SUSE Linux <input type="checkbox"/> j: Miracole Linux <input type="checkbox"/> k: Turbo Linux <input type="checkbox"/> l: その他Linux <input type="checkbox"/> m: Linux <input type="checkbox"/> n: その他UNIX系 <input type="checkbox"/> o: MVS <input type="checkbox"/> p: IMS <input type="checkbox"/> q: TRON <input type="checkbox"/> r: オフコン <input type="checkbox"/> s: その他OS
言語	<input type="checkbox"/> a: アセンブラ <input type="checkbox"/> b: COBOL <input type="checkbox"/> c: PL/I <input type="checkbox"/> d: Prolog <input type="checkbox"/> e: C++ <input type="checkbox"/> f: Visual C++ <input type="checkbox"/> g: C言語 <input type="checkbox"/> h: VB <input type="checkbox"/> i: Excel (VBA) <input type="checkbox"/> j: InputMan <input type="checkbox"/> k: PL/SQL <input type="checkbox"/> l: ABAP <input type="checkbox"/> m: C# <input type="checkbox"/> n: Visual Basic .NET <input type="checkbox"/> o: Java <input type="checkbox"/> p: Perl <input type="checkbox"/> q: Shellスクリプト <input type="checkbox"/> r: Delphi <input type="checkbox"/> s: HTML <input type="checkbox"/> t: XML <input type="checkbox"/> u: その他の言語
リリース年	年～ 年

※上の対象工程で選択した工程に対して実績日が正しく入力されていることをご確認ください。

補足1)絞込み条件を指定しなかった場合、無条件抽出となり全データが対象となります。

補足2)絞り込み条件の「リリース年」とは、プロジェクトデータの「プロジェクト全体工期(実績)の終了日」の年のデータを意味します。

■ 工数・工期・要員数

工数単位(※)		
人時への換算係数		←工数単位を「人月」でデータ入力の場合には、1人が1ヶ月100%稼働の場合の時間数で記入ください。工数単位が「人時」の場合は「1」としてください。
プロジェクト開始工数	基本設計	【人時】
計画値	開始時刻	【人時】

日付入力形式は: YYYY/MM

項目	システム化計画	要件定義	基本設計	詳細設計	製作	結合テスト	総合テスト(ベンダ確認)	総合テストドキュメント確認	工程配分不可	プロジェクト全体
当該工程の作業有無(※)										
要求仕様変更の発生状況(※)										
工期(※1)	計画	開始日								
		終了日								
	実績	月数								
		終了日								

プロジェクト全体の終了日の年をリリース年とします。

- (5) 信頼幅を表示する場合は、下方の対象の図表の信頼幅欄に数値を入力します。

対象工程(※1の図表で使用)
基本設計
}

総合テスト(ベンダ確認)

絞り込み条件	
項目名	条件
種別	<input type="checkbox"/> a: 新規開発 <input type="checkbox"/> b: 改修・保守 <input type="checkbox"/> c: 再開発 <input type="checkbox"/> d: 拡張
業種	<input type="checkbox"/> A: 農業 <input type="checkbox"/> B: 林業 <input type="checkbox"/> C: 漁業 <input type="checkbox"/> D: 鉱業 <input type="checkbox"/> E: 建設業 <input type="checkbox"/> F: 製造業 <input type="checkbox"/> G: 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> H: 情報通信業 <input type="checkbox"/> I: 運輸業 <input type="checkbox"/> J: 卸売・小売業 <input type="checkbox"/> K: 金融・保険業 <input type="checkbox"/> L: 不動産業 <input type="checkbox"/> M: 飲食店・宿泊業 <input type="checkbox"/> N: 医療・福祉 <input type="checkbox"/> O: 教育・学習支援業 <input type="checkbox"/> P: 総合サービス事業 <input type="checkbox"/> Q: サービス業(他に分類されないもの) <input type="checkbox"/> R: 公務(他に分類されないもの) <input type="checkbox"/> S: 分類不能の産業
アーキテクチャ	<input type="checkbox"/> a: スタンドアロン <input type="checkbox"/> b: メインフレーム <input type="checkbox"/> c: 2階層クライアント/サーバ <input type="checkbox"/> d: 3階層クライアント/サーバ <input type="checkbox"/> e: イントラネット/インターネット <input type="checkbox"/> f: その他
開発対象プラットフォーム	<input type="checkbox"/> a: Windows95/98/Me系 <input type="checkbox"/> b: WindowsNT/2000/XP系 <input type="checkbox"/> c: Windows Server 2003 <input type="checkbox"/> d: HP-UX <input type="checkbox"/> e: HI-UX <input type="checkbox"/> f: AIX <input type="checkbox"/> g: Solaris <input type="checkbox"/> h: Redhat Linux <input type="checkbox"/> i: SUSE Linux <input type="checkbox"/> j: Miracole Linux <input type="checkbox"/> k: Turbo Linux <input type="checkbox"/> l: その他Linux <input type="checkbox"/> m: Linux <input type="checkbox"/> n: その他UNIX系 <input type="checkbox"/> o: MVS <input type="checkbox"/> p: IMS <input type="checkbox"/> q: TRON <input type="checkbox"/> r: オフコン <input type="checkbox"/> s: その他OS
言語	<input type="checkbox"/> a: アセンブラ <input type="checkbox"/> b: COBOL <input type="checkbox"/> c: PL/I <input type="checkbox"/> d: Prolog <input type="checkbox"/> e: C++ <input type="checkbox"/> f: Visual C++ <input type="checkbox"/> g: C言語 <input type="checkbox"/> h: VB <input type="checkbox"/> i: Excel (VBA) <input type="checkbox"/> j: InputMan <input type="checkbox"/> k: PL/SQL <input type="checkbox"/> l: ABAP <input type="checkbox"/> m: C# <input type="checkbox"/> n: Visual Basic .NET <input type="checkbox"/> o: Java <input type="checkbox"/> p: Perl <input type="checkbox"/> q: Shellスクリプト <input type="checkbox"/> r: Delphi <input type="checkbox"/> s: HTML <input type="checkbox"/> t: XML <input type="checkbox"/> u: その他の言語
リリース年	年～ 年

※上の対象工程で選択した工程に対して実績日が正しく入力されていることをご確認ください。

信頼幅も通知したい場合は信頼幅を入力してください。
(信頼幅は0以上100未満の数値を入力してください)

図表名	信頼幅
工期-工期	
規模-工期(FP)	
規模-工期(SLOC)	
規模-生産性(FP)	
規模-生産性(SLOC)	
規模-発生不具合数(FP)	
規模-発生不具合数(SLOC)	
規模-発生不具合密度(FP)	
規模-発生不具合密度(SLOC)	

(例 50%信頼幅の場合 “50”を入力)

(6) 表示する図表と条件が決まったら、図表作成ボタンを押下します。

図表作成

「表示対象図表」から図表を選択し、図表作成ボタンを押下すると対象の図表シートに図表を作成します。

表示対象を絞り込む場合は、「絞り込み条件」にて条件を設定してください。

図
Co

図表名	種類	選択	図表表示
工数－工期(※1)	散布図	<input checked="" type="checkbox"/>	⇒

項目名	
種別	<input type="checkbox"/> a: 新規開発 <input type="checkbox"/> b: 改修・保守
業種	<input type="checkbox"/> A: 農業 <input type="checkbox"/> B: 林業

注意) 図表作成処理が開始すると、シート名が「表示対象図表」にある図表名のシート、“信頼幅 Work_(図表名)”のシートは全て削除されます。

前回作った図表を保持しておきたい場合は、図表シートを別名に変更して図表を保持してください。

(7) プロジェクトデータ 10 件で 10 秒程度の作成時間がかかります。

データ件数や使用 PC のスペックによって処理時間が変わりますのでご注意ください。

処理が完了したら、以下のダイアログが表示されますので、「OK」を押してください。

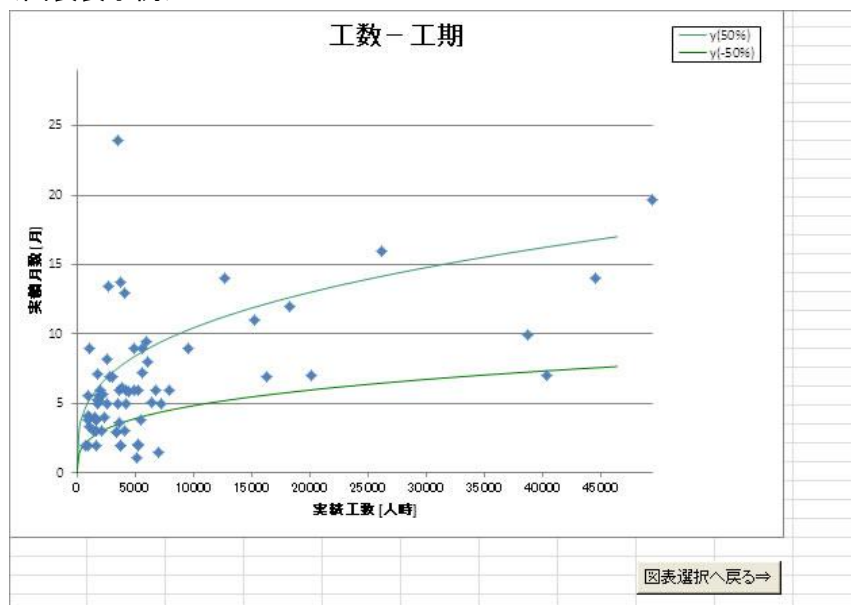


(8) 選択した図表毎にシートが作成されます。

<シート表示例>

図表_工数－工期 図表_規模－工数(FP) 図表_規模－工数(SLOC) 図表_規模－生産性(FP)

<図表表示例>



「図表選択へ戻る⇒」ボタン押下により該当の図表シートに移動して表示する事が可能です。

(9) 「⇒」ボタン押下により該当の図表シートに移動して表示する事が可能です。

図表作成 「表示対象図表」から図表を選択し、図表作成ボタンを押下すると対象の図表シートに図表を作成します。
表示対象を絞り込む場合は、「絞り込み条件」にて条件を設定してください。

図表選択ツール Ver.4.1 (2009-8-31)
Copyright (C) 2009-2011 IPA SEG. All rights reserved.

表示対象図表				絞り込み条件	
図表名	種類	選択	表示	項目名	条件
工数-工数 (※1)	数値図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	業種	<input type="checkbox"/> a: 製造業 <input type="checkbox"/> b: 建設・採石 <input type="checkbox"/> c: 商売業 <input type="checkbox"/> d: 医療
経費-工数 (FP) (※1)	数値図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	業種	<input type="checkbox"/> A: 農業 <input type="checkbox"/> B: 林業 <input type="checkbox"/> C: 漁業 <input type="checkbox"/> D: 鉱業 <input type="checkbox"/> E: 建設業 <input type="checkbox"/> F: 製造業
経費-工数 (SLOG) (※1)	数値図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	業種	<input type="checkbox"/> G: 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> H: 情報通信業 <input type="checkbox"/> I: 運輸業 <input type="checkbox"/> J: 卸売・小売業
経費-生産性 (FP) (※1)	数値図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	業種	<input type="checkbox"/> K: 金融・保険業 <input type="checkbox"/> L: 不動産業 <input type="checkbox"/> M: 飲食店・宿泊業 <input type="checkbox"/> N: 医療・福祉 <input type="checkbox"/> O: 教育・学習支援業
経費-生産性 (SLOG) (※1)	数値図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	業種	<input type="checkbox"/> P: 総合サービス業 <input type="checkbox"/> Q: サービス業 (他に分類されないもの)
工数別月別比	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	業種	<input type="checkbox"/> R: 凶業 (他に分類されないもの) <input type="checkbox"/> S: 分類不明の産業
工数別工数比	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アーキテクチャ	<input type="checkbox"/> a: スタンドアロン <input type="checkbox"/> b: メインフレーム <input type="checkbox"/> c: 2階層クライアント/サーバ <input type="checkbox"/> d: 3階層クライアント/サーバ
経費-発生単価 (FP)	数値図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アーキテクチャ	<input type="checkbox"/> e: インフラネット/インターネット <input type="checkbox"/> f: その他
経費-発生単価 (SLOG)	数値図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	開発対象プラットフォーム	<input type="checkbox"/> a: Windows95/98/Me系 <input type="checkbox"/> b: Windows2000/XP系 <input type="checkbox"/> c: Windows Server 2003
経費-発生単価 (FP)	数値図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プラットフォーム	<input type="checkbox"/> d: HP-UX <input type="checkbox"/> e: HP-UX <input type="checkbox"/> f: AIX <input type="checkbox"/> g: Solaris <input type="checkbox"/> h: Redhat Linux <input type="checkbox"/> i: SUSE Linux
経費-発生単価 (SLOG)	数値図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プラットフォーム	<input type="checkbox"/> j: Miracore Linux <input type="checkbox"/> k: Turbo Linux <input type="checkbox"/> l: その他Linux <input type="checkbox"/> m: Linux <input type="checkbox"/> n: その他UNIX系
レビュー指摘件数 (FP)	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プラットフォーム	<input type="checkbox"/> o: 携帯 <input type="checkbox"/> p: PDA <input type="checkbox"/> q: TRON <input type="checkbox"/> r: オフコン <input type="checkbox"/> s: その他OS
レビュー指摘件数 (SLOG)	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	言語	<input type="checkbox"/> a: アセンブラ <input type="checkbox"/> b: C/C++ <input type="checkbox"/> c: PL/I <input type="checkbox"/> d: Fortran <input type="checkbox"/> e: C++ <input type="checkbox"/> f: Visual C++
レビュー指摘件数 (工数)	基本統計量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	言語	<input type="checkbox"/> g: COBOL <input type="checkbox"/> h: VB <input type="checkbox"/> i: Excel (VBA) <input type="checkbox"/> j: InputMan <input type="checkbox"/> k: PL/SQL <input type="checkbox"/> l: ABAP
				言語	<input type="checkbox"/> m: CO <input type="checkbox"/> n: Visual Basic .NET <input type="checkbox"/> o: Java <input type="checkbox"/> p: Perl <input type="checkbox"/> q: Shellスクリプト
				言語	<input type="checkbox"/> r: Delphi <input type="checkbox"/> s: HTML <input type="checkbox"/> t: XML <input type="checkbox"/> u: その他の言語
				リリース年	年～ 年

対象工程 (※1)の図表で使用
基本設計
}

総合テスト (ベンダ確認)

※上の対象工程で選択した工程に対して実績日が正しく入力されていることをご確認ください。

ここを押下する事で
シートの移動が可能

6.12. データ精査(必須チェック)

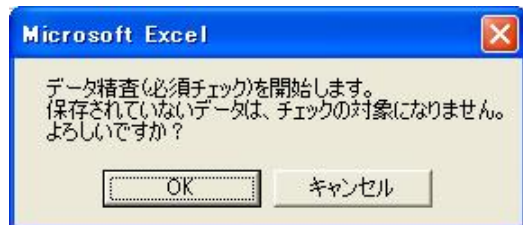
(1) 注意事項

あらかじめ「記入フォーム」シートの編集データの「新規保存」「上書保存」を行ったか確認してください。
保存を行っていない場合、編集データは精査対象外となりますのでご注意ください。

(2) 「データ精査（必須チェック）」シートの「データ精査（必須チェック）」ボタンを押します。

	A	B	C	D	G	H	K
1			このボタンを押すと、dataシートに入力されている全プロジェクトについて、必須項目のチェックが実行されます。				
2			※100プロジェクト外で、8分程度かかります。(エラーの数により時間は変わります。)				
3							
4			データ精査（必須チェック）				
5							
6							
7			データ精査(必須チェック)結果 (エラーがある場合、下表に内容が表示されます。)				
8			エラー件数: 0 件				
10	No.	プロジェクトID	データ項目 (項番_項目名)	記入フォーム の場所	dataシート の場所		
11				セル名	シート名	セル名	種類
12							
13							

(3) データ精査(必須チェック)の確認ダイアログが表示されますので、「OK」を押します。



(4) プロジェクトデータ 10 件で 10 秒程度の精査時間がかかります。 データ件数や使用 PC のスペックによって精査時間が変わりますのでご注意ください。

(5) データ精査(必須チェック)処理の完了ダイアログが表示されます。 「OK」を押します。 データ精査(必須チェック)処理の完了です。



- (6) データ精査(必須チェック)完了後、シート内容を確認してください。
 “Error”や”Warning”の内容を見て、プロジェクトデータの修正を行ってください。

このボタンを押すと、dataシートに入力されている全プロジェクトについて、必須項目のチェックが実行されます。 ※100プロジェクトで、2分程度かかります。(エラーの数により時間は変わります。)							データ精査ツール Ver.4.0 Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC All rights reserved.	
データ精査 (必須チェック)								
データ精査(必須チェック)結果 (エラーがある場合、下表に内容が表示されます。)							精査開始: 2009/2/14 12:30	
エラー件数: 12 件								
No.	プロジェクトID	データ項目 (項番_項目名)	記入フォーム の場所 セル名	シート名	セル名	種類	エラーID	エラー内容
1	プロジェクトID (1)	5122_開始日(計画)_プロジェクト全体	\$N\$196	data3	\$T\$3	Warning	3902	必須項目です。値を入力してください。
2	プロジェクトID (1)	5131_終了日(計画)_プロジェクト全体	\$N\$197	data3	\$AC\$3	Warning	3904	必須項目です。値を入力してください。
3	プロジェクトID (1)	5267_発生不具合現象数(合計)_1ヶ月	\$F\$242	data4	\$AO\$3	Warning	4904	必須項目です。値を入力してください。
4	プロジェクトID (1)	5268_発生不具合現象数(合計)_3ヶ月	\$G\$242	data4	\$AP\$3	Warning	4905	必須項目です。値を入力してください。
5	プロジェクトID (2)	5122_開始日(計画)_プロジェクト全体	\$N\$196	data3	\$T\$4	Warning	3902	必須項目です。値を入力してください。
6	プロジェクトID (2)	5131_終了日(計画)_プロジェクト全体	\$N\$197	data3	\$AC\$4	Warning	3904	必須項目です。値を入力してください。
7	プロジェクトID (2)	5267_発生不具合現象数(合計)_1ヶ月	\$F\$242	data4	\$AO\$4	Warning	4904	必須項目です。値を入力してください。
8	プロジェクトID (2)	5268_発生不具合現象数(合計)_3ヶ月	\$G\$242	data4	\$AP\$4	Warning	4905	必須項目です。値を入力してください。
9	プロジェクトID (3)	5122_開始日(計画)_プロジェクト全体	\$N\$196	data3	\$T\$5	Warning	3902	必須項目です。値を入力してください。
10	プロジェクトID (3)	5131_終了日(計画)_プロジェクト全体	\$N\$197	data3	\$AC\$5	Warning	3904	必須項目です。値を入力してください。
11	プロジェクトID (3)	5267_発生不具合現象数(合計)_1ヶ月	\$F\$242	data4	\$AO\$5	Warning	4904	必須項目です。値を入力してください。
12	プロジェクトID (3)	5268_発生不具合現象数(合計)_3ヶ月	\$G\$242	data4	\$AP\$5	Warning	4905	必須項目です。値を入力してください。

注意) Error、Warning の定義は以下の通り
 Error : 入力間で重大な矛盾があり、修正が必要。
 Warning : 入力に矛盾があるが、修正しなくても処理が可能。

6.13. データ精査(矛盾チェック)

(1) 注意事項

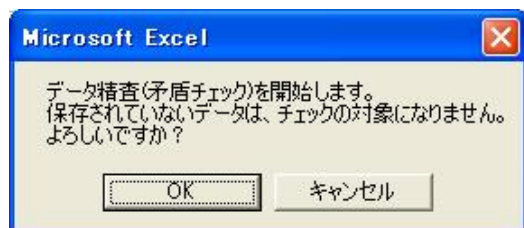
あらかじめ「記入フォーム」シートの編集データの「新規保存」「上書保存」を行ったか確認してください。

保存を行っていない場合、編集データは精査対象外となりますのでご注意ください。

(2) 「データ精査（矛盾チェック）」シートの「データ精査（矛盾チェック）」ボタンを押します。

	A	B	C	D	G	H	K
1			このボタンを押すと、dataシートに入力されている全プロジェクトについて、データ間の矛盾性のチェックが実行されます。				
2			※100プロジェクトで、8分程度かかります。(エラーの数により時間は変わります。)				
3							
4			データ精査（矛盾チェック）				
5							
6							
7			データ精査(矛盾チェック)結果 (エラーがある場合、下表に内容が表示されます。)				
8			エラー件数: 0 件				
10	No.	プロジェクトID	データ項目 (項番_項目名)	記入フォーム の場所	dataシート の場所		
11	▼	▼	▼	セル名 ▼	シート名 ▼	セル名 ▼	種類 ▼
12							
13							

(3) データ精査(矛盾チェック)の確認ダイアログが表示されますので、「OK」を押します。



(4) プロジェクトデータ 10 件で 10 秒程度の精査時間がかかります。

データ件数や使用 PC のスペックによって精査時間が変わりますのでご注意ください。

(5) データ精査(矛盾チェック)処理の完了ダイアログが表示されます。

「OK」を押します。

データ精査(矛盾チェック)処理の完了です。



- (6) データ精査(矛盾チェック)完了後、シート内容を確認してください。
“Error”や“Warning”の内容を見て、プロジェクトデータの修正を行ってください。

このボタンを押すと、dataシートに入力されている全プロジェクトについて、データ間の矛盾性のチェックが実行されます。 ※100プロジェクトで、2分程度かかります。(エラーの数により時間は変わります。)									
データ精査(矛盾チェック)									
データ精査(矛盾チェック)結果 (エラーがある場合、下表に内容が表示されます。)									
エラー件数: 42 件									
精査開始: 2009/2/14 12:26									
データ精査ツール Ver 4.0 Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC All rights reserved.									
No.	プロジェクトID	データ項目(項番_項目名)	記入フォーム の場所 セル名	dataシート の場所		種類	エラーID	エラー内容	
				シート名	セル名				
1		10084_各社採番のプロジェクトID	\$M\$6	data1	\$D\$3	Error	1901	必須項目です。値を入力してください。	
2		103_開発プロジェクトの種別	\$M\$10	data1	\$H\$3	Error	1903	必須項目です。値を入力してください。	
3		308_アーキテクチャ	\$M\$61	data1	\$CB\$3	Error	1921	必須項目です。値を入力してください。	
4		309_開発対象プラットフォーム	\$M\$62	data1	\$CE\$3	Error	1922	必須項目です。値を入力してください。	
5		312_主開発言語1	\$M\$65	data1	\$CM\$3	Error	1925	必須項目です。値を入力してください。	
6		901_工数の単位	\$C\$189	data1	\$FV\$3	Error	1957	必須項目です。値を入力してください。	
7		902_人時換算係数	\$C\$190	data1	\$FX\$3	Error	1958	必須項目です。値を入力してください。	
8		5001_FP実測値調整前	\$C\$128	data2	\$D\$3	Error	2901	必須項目です。調整前のFP実測値、またはSLOC実測値 いずれかに値を入力してください。	
9		5122_開始日(計画)プロジェクト全体	\$N\$196	data3	\$T\$3	Warning	3902	必須項目です。値を入力してください。	
10		5131_終了日(計画)プロジェクト全体	\$N\$197	data3	\$AC\$3	Warning	3904	必須項目です。値を入力してください。	
11		5149_開始日(実績)プロジェクト全体	\$N\$199	data3	\$AW\$3	Error	3906	必須項目です。値を入力してください。	
12		5158_終了日(実績)プロジェクト全体	\$N\$200	data3	\$BF\$3	Error	3908	必須項目です。値を入力してください。	
13		5267_発生不具合現象数(合計)1ヶ月	\$F\$242	data4	\$AO\$3	Warning	4904	必須項目です。値を入力してください。	
14		5268_発生不具合現象数(合計)3ヶ月	\$G\$242	data4	\$AP\$3	Warning	4905	必須項目です。値を入力してください。	
15		10084_各社採番のプロジェクトID	\$M\$6	data1	\$D\$4	Error	1901	必須項目です。値を入力してください。	
16		103_開発プロジェクトの種別	\$M\$10	data1	\$H\$4	Error	1903	必須項目です。値を入力してください。	
17		308_アーキテクチャ	\$M\$61	data1	\$CB\$4	Error	1921	必須項目です。値を入力してください。	
18		309_開発対象プラットフォーム	\$M\$62	data1	\$CE\$4	Error	1922	必須項目です。値を入力してください。	
19		312_主開発言語1	\$M\$65	data1	\$CM\$4	Error	1925	必須項目です。値を入力してください。	
20		901_工数の単位	\$C\$189	data1	\$FV\$4	Error	1957	必須項目です。値を入力してください。	
21		902_人時換算係数	\$C\$190	data1	\$FX\$4	Error	1958	必須項目です。値を入力してください。	

注意) Error、Warning の定義は以下の通り
Error : 入力間で重大な矛盾があり、修正が必要。
Warning : 入力に矛盾があるが、修正しなくても処理が可能。

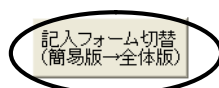
6.14. 記入フォーム切替

「記入フォーム(簡易版) ⇒ 記入フォーム(全体版)」への切替 及び
「記入フォーム(全体版) ⇒ 記入フォーム(簡易版)」への切替 を実施します。

- (1) 現在の記入フォームが「簡易版」の場合、「記入フォーム切替(簡易版→全体版)」ボタンを押下する事で、「全体版」へ切替ります。

スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール Ver. 4.1
Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC All rights reserved.

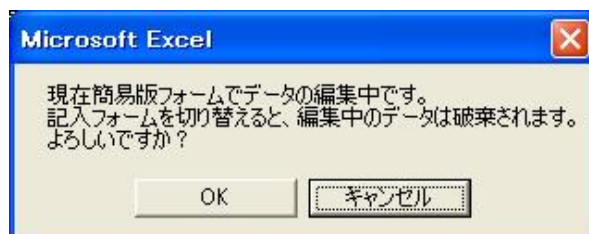
組織ID:



「記入フォーム切替」ボタンを押下すると、記入フォームを簡易版もしくは全体版に切替えます。
簡易版では、入力項目が少なく、簡単に入力を行うことができます。
全体版は、入力項目が多いですが、より詳細に入力を行うことができます。

現在の記入フォーム:

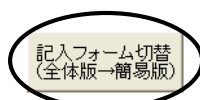
データ編集の場合、以下のメッセージが表示されます。切り替える場合は OK を押してください。



- (2) 現在の記入フォームが「全体版」の場合、「記入フォーム切替(全体版→簡易版)」ボタンを押下する事で、「簡易版」へ切替ります。

スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール Ver. 4.1
Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC All rights reserved.

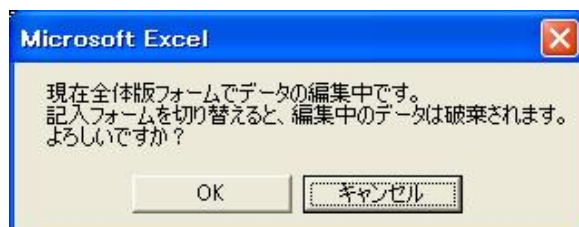
組織ID:



「記入フォーム切替」ボタンを押下すると、記入フォームを簡易版もしくは全体版に切替えます。
簡易版では、入力項目が少なく、簡単に入力を行うことができます。
全体版は、入力項目が多いですが、より詳細に入力を行うことができます。

現在の記入フォーム:

データ編集の場合、以下のメッセージが表示されます。切り替える場合は OK を押してください。



6.15. 一括データ登録用 CSV 出力

「data1」～「data5」シートからデータを読み込み、CSV ファイルを出力します。
出力された CSV ファイルは、Web 型プロジェクト診断支援ツールにて、プロジェクトデータの
一括取込用ファイルとして使用可能です。

- (1) 「一括データ登録用 CSV 出力」ボタンを押します。

スタンダード型プロジェクト診断支援ツール Ver. 4.1
Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC All rights reserved.

組織ID: 組織ID入力

記入フォーム切替
(簡易版→全体版)

「記入フォーム切替」ボタンを押下すると、記入フォームを簡易版もしくは全体版に切替えます。
簡易版では、入力項目が少なく、簡単に入力を行うことができます。
全体版は、入力項目が多いですが、より詳細に入力を行うことができます。

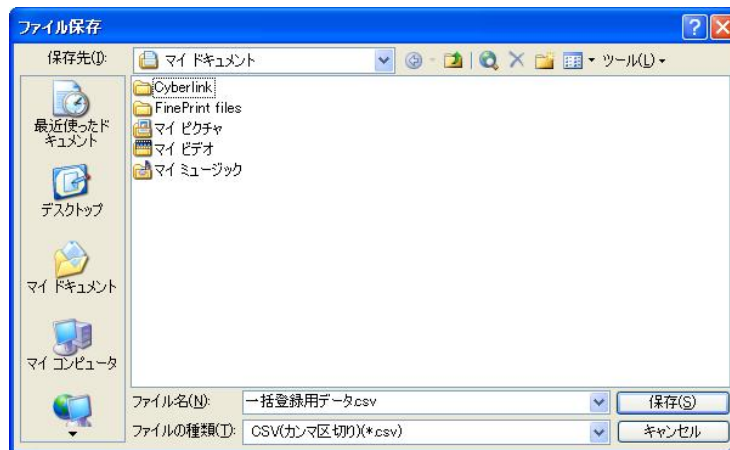
現在の記入フォーム:

**一括データ登録用
CSV出力**

「一括データ登録用CSV出力」ボタンを押下すると、
「data1」～「data5」シートから
Web型プロジェクト診断支援ツールのプロジェクトデータ一括登録用フォーマットのCSVファイルを出力します。

ステータス:

- (2) 出力先ファイル選択のダイアログが表示されますので、出力先ファイルを指定して、
「保存」ボタンを押します。



- (3) 終了した旨のダイアログが表示されますので、「OK」を押してください。



6.16. プロジェクトデータ一括取込

指定されたプロジェクトデータファイル(Excel ファイル)から「data1」～「data5」シートのデータを読み、スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールの「data1」～「data5」シートにデータを追加します。
追加されたデータは、スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール上で編集する事が可能です。

(1) 「プロジェクトデータ一括取込」ボタンを押します。

一括データ登録用
CSV出力

「一括データ登録用CSV出力」ボタンを押下すると、
「data1」～「data5」シートから
Web型プロジェクト診断支援ツールのプロジェクトデータ一括登録用フォーマットのCSVファイルを出力します。

ステータス:

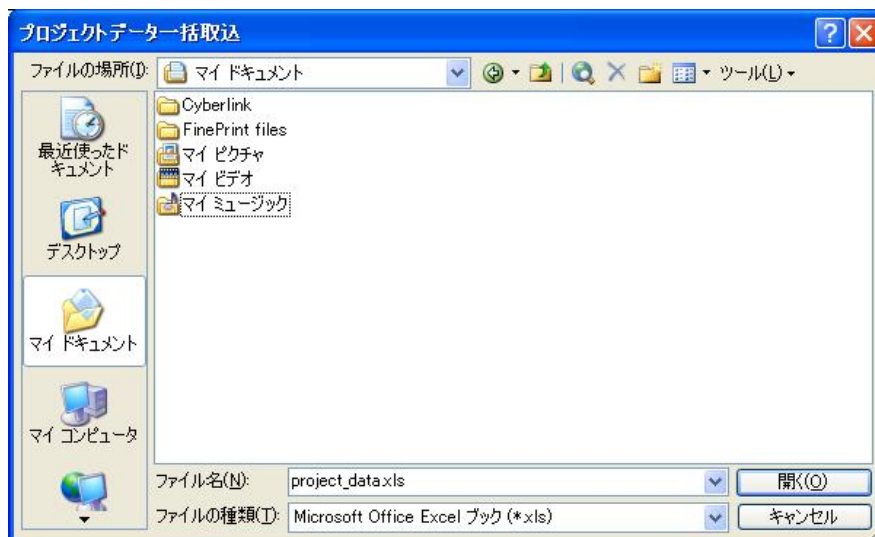
プロジェクトデータ
一括取込

「プロジェクトデータ一括取込」ボタンを押下すると、
別ファイルのプロジェクトデータを「data1」～「data5」シートへ追加で取り込みます。

プロジェクトデータ
一括出力

「プロジェクトデータ一括出力」ボタンを押下すると、
「data1」～「data5」シートを、編集可能な状態で別ファイルに出力します。

(2) 取込ファイル選択のダイアログが表示されますので、ファイルを指定して、「開く」ボタンを押します。



(3) 終了した旨のダイアログが表示されますので、「OK」を押してください。



(4) 選択した取込ファイルから「data1」～「data5」のデータが取り込まれます。

ID	101_プロジェクトID_事務局	102_データ信頼性_事務局	10084_各社採番のプロジェクトID	11001_全体システム・サブシステム識別フラグ	11002_グループID	10085_各社評価の本データの信頼性	103_開発プロジェクト種別	104_母体システム安定度	105_開発プロジェクト形態	105_開発プロジェクト形態_他	106_受託開発作業場所_1
			1				a:新規開発				
			2	a:全体システム	1	A	a:新規開発	a:システムは変更している	a:商用パッケージ開発		a:顧客先

- 注意) 指定した取込ファイルの内容が以下に該当する場合、一括取込ログシートにエラー内容を出力し、データを取り込みません。
- ・「data1」～「data5」シートがファイルに存在しない。
 - ・登録済みのプロジェクトデータと同じ「10084_各社採番のプロジェクトID」のデータを含む。
 - ・ファイル内で同じ「10084_各社採番のプロジェクトID」のデータを含む。
 - ・「10084_各社採番のプロジェクトID」に「|」(罫線記号)が入力されている。
 - ・「12050_プロジェクト名」に「|」(罫線記号)が入力されている。

6.17. プロジェクトデータ一括出力

指定されたプロジェクトデータファイル(Excel ファイル)へ「data1」～「data5」シートのデータを出力します。出力されたデータは、Excel ベースで編集する事が可能です。

(1) 「プロジェクトデータ一括出力」ボタンを押します。

一括データ登録用
CSV出力

「一括データ登録用CSV出力」ボタンを押下すると、
「data1」～「data5」シートから
Web型プロジェクト診断支援ツールのプロジェクトデータ一括登録用フォーマットのCSVファイルを出力します。

ステータス:

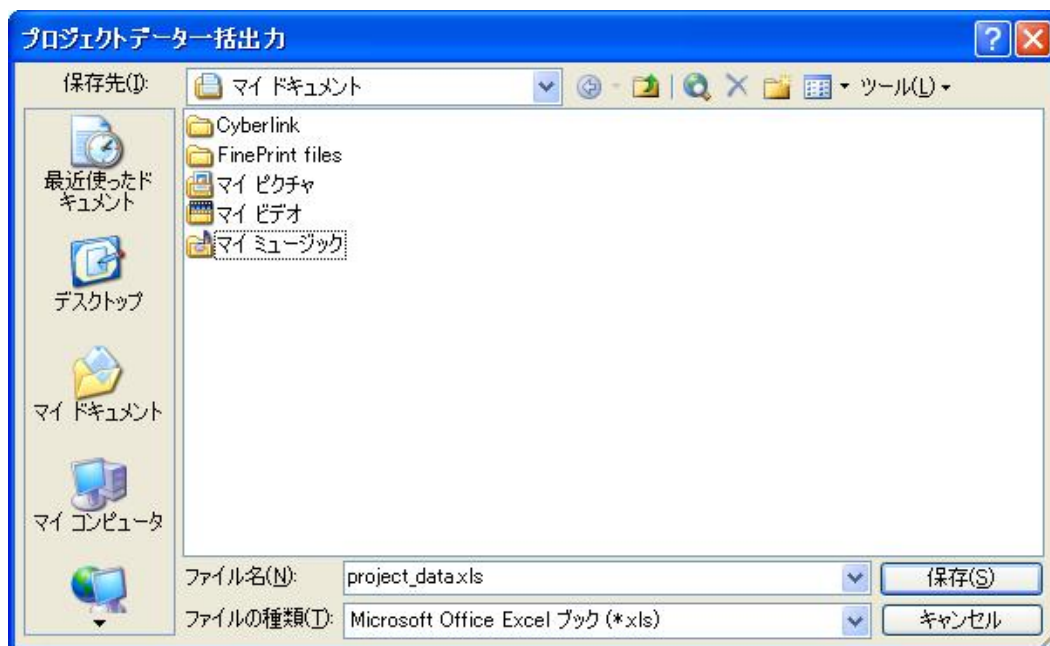
プロジェクトデータ
一括取込

「プロジェクトデータ一括取込」ボタンを押下すると、
別ファイルのプロジェクトデータを「data1」～「data5」シートへ追加で取り込みます。

プロジェクトデータ
一括出力

「プロジェクトデータ一括出力」ボタンを押下すると、
「data1」～「data5」シートを、編集可能な状態で別ファイルに出力します。

(2) 出力先ファイル選択のダイアログが表示されますので、ファイルを指定して、「保存」ボタンを押します。



(3) 終了した旨のダイアログが表示されますので、「OK」を押して下さい。



(4) 選択した出力ファイルに「data1」～「data5」シートが出力されます。

ID	101_プロジェクトID_事務局	102_データ信頼性_事務局	10084_各社採番のプロジェクトID	11001_全体システム・サブシステム識別フラグ	11002_グループID	10085_各社評価の本データの信頼性	103_開発プロジェクト種別	104_母体システム安定度	105_開発プロジェクト形態	105_開発プロジェクト形態_他名称	106_受託開発作業場所_1
			1				a:新規開発				
			2	a:全体システム	1	A	a:新規開発	※ システムは変更している	a:商用パッケージ開発		a:顧客先

注意) 出力先として、既存のスタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールを指定した場合、既存のスタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールの全シートは削除され、「data1」～「data5」シートのみを持つファイルで保存されますので注意して下さい。

7. AccessDB連携

7.1. AccessDB連携動作条件

(1) 対象OSと対象ソフトウェア

下記組み合わせでの動作を確認しています。

No	対象 OS	対象ソフトウェア
1	Windows XP	MS-Office2010(Excel 2010、Access2003,2010)
2	Windows 7	MS-Office2010(Excel 2010、Access2003,2010) MS-Office2013(Excel 2013、Access2013)

(2) マクロセキュリティレベル

AccessDB連携におけるマクロセキュリティレベルは、Excelツールのみの場合の動作条件、「1. 動作条件」と同様です。

(3) 必要なファイル

AccessDB 連携における必要なファイルは、以下の通りです。

- ・ スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール_v4.1R3.0x_yyyymmdd_xxx.xlsm
- ・ SEC_DB_v4.1R1.8_yyyymmdd_xxx.mdb

7.2. AccessDB連携概要

AccessDB 連携では、Excelツールのみの場合の「2. 概要」に加えて、以下の機能を有します。

- ・ プロジェクト実績 DB の読み込み、書き込み
(Excel ツールから AccessDB へのデータ書き込み、AccessDB から Excel ツールへのデータ読み込み)

AccessDB 書き込み時は、チェックボックスを指定する事により、データ精査をスキップできます。

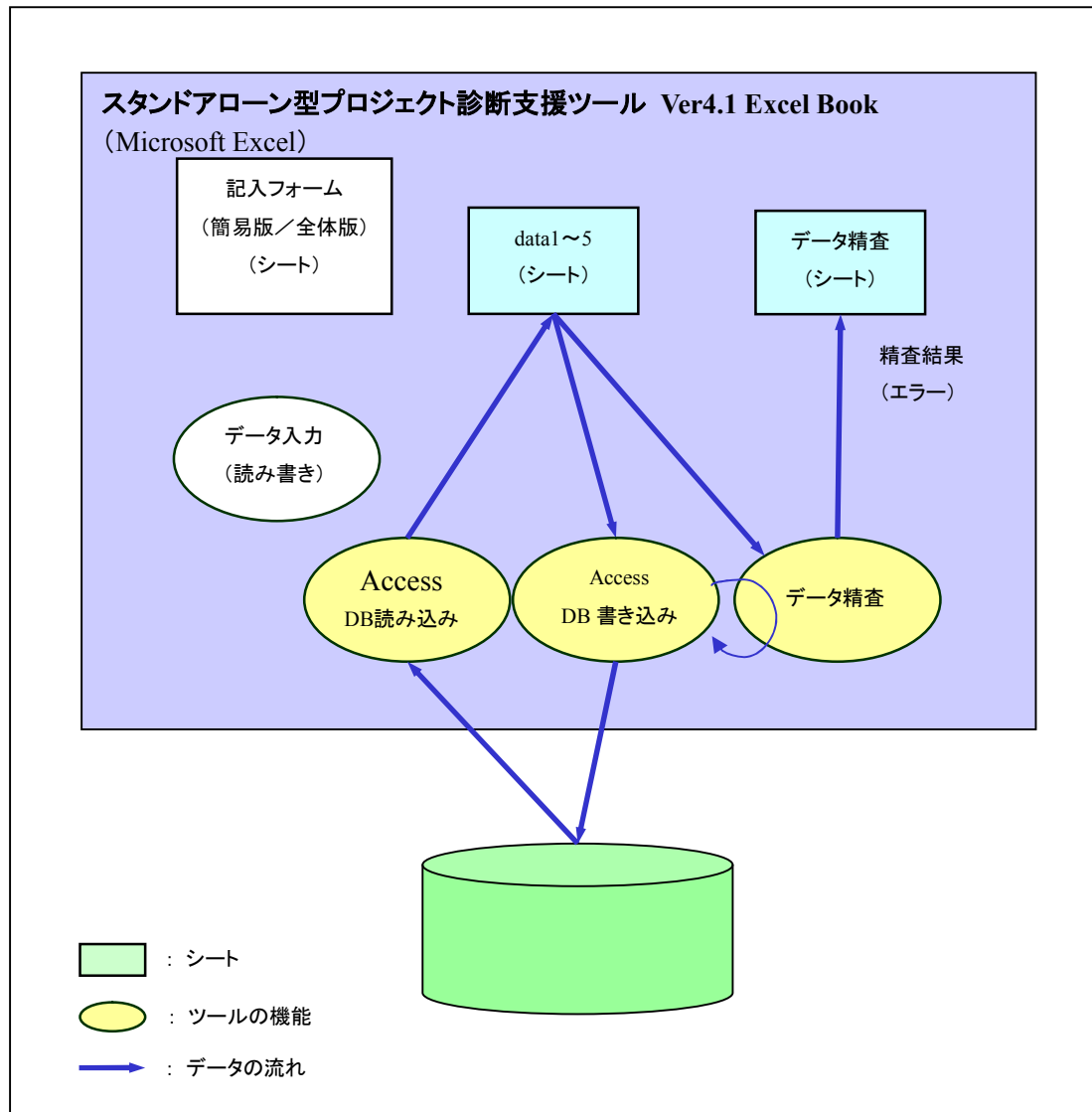


図 7-1. AccessDB連携 概要

7.3. AccessDB連携シート説明

AccessDB 連携では、Excelツールのみの場合の「3. シート説明」のシートに加えて、以下のシートを使用します。

シート名	概要	備考
DB 登録	以下の操作を行うためのシートです。 ・入力されたプロジェクトデータの DB への書き込み ・DB に登録されているプロジェクトデータのスタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールへの読み込み ・スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールと DB ファイルとのバージョンチェック ・プロジェクトデータの計算値一括反映	
LOG	プロジェクト実績 DB へのアクセスログが出力されるシートです。	

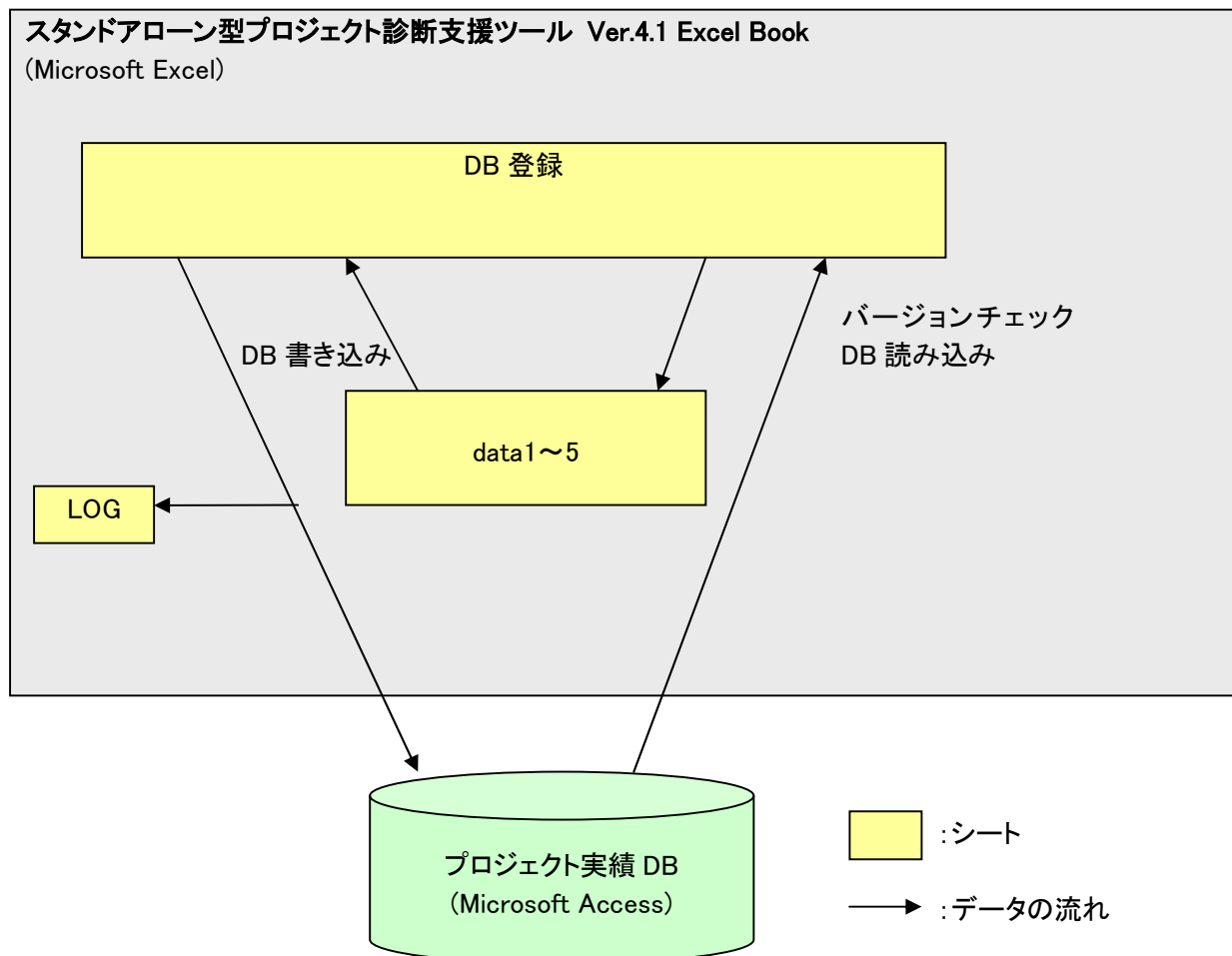


図 7-2. AccessDB 連携 シート関連図

7.4. AccessDB連携画面説明

AccessDB 連携では、Excelツールのみの場合の「4. 画面説明」のシートに加えて、「DB 登録」シート、「LOG」シートを使用します。

7.4.1 「DB 登録」シート

DB登録ツール Ver.4.1

Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC All rights reserved.

- ①
DB名: SEC_DB_v4.1.mdb
- ② ☒ 本ツールと同じフォルダにある
ここ(C6セル)に記述されているDBが使用されます。
本ツールと同じフォルダにある場合は、ファイル名を記述し、「本ツールと同じフォルダにある」チェックをつけてください。
本ツールと同じフォルダにない場合は、フルパスでファイル名を記述してください。
ファイル名には拡張子(*.mdb)を必ず記述してください。
- ③ Access DB書き込み
「Access DB書き込み」ボタンをクリックすると、「data1」～「data5」シートの全てのデータがDBに書き込まれます。
- ④ DB書き込み時の精査スキップ
- ⑤ Access DB読み込み
「Access DB読み込み」ボタンをクリックすると、「data1」～「data5」シートの全てのデータをクリアした後、DBからデータを読み込みます。
DBに書き出していないデータがある場合は、「Access DB書き込み」ボタンをクリックして、DBに書き出して下さい。
- ⑥ 計算値一括反映
「計算値一括反映」ボタンを押下すると、「data1」～「data5」シートからデータを「記入フォーム」シートに読み込んで、再計算した後、「data1」～「data5」シートへ書き出す処理を行います。
- ステータス: ⑦
- ⑧ バージョンチェック
「バージョンチェック」ボタンをクリックすると、スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール(本ファイル)のバージョンとDBファイルのバージョンが同一であるかのチェックを行います。

- ①DB 名入力エリア
プロジェクト実績 DB のファイルパスを入力します。
- ②「本ツールと同じフォルダにある」チェックボックス
入力するプロジェクト実績 DB が本ツールと同じフォルダにある場合は、このチェックボックスをチェックし、①にはファイル名のみを入力してください。
本ツールと同一フォルダにない場合は、チェックを外し、①にはファイルパスとファイル名のフルパスで入力してください。
- ③「AccessDB 書き込み」ボタン
このボタンを押下すると、「data1」、「data2」、「data3」、「data4」および「data5」の各シートのプロジェクトデータを、プロジェクト実績 DB へ書き込みます。

- ④「DB 書き込み時の精査スキップ」チェックボックス
「DB 書き込み」時の精査をスキップしたい場合は、このチェックボックスにチェックを入れてください。
- ⑤「AccessDB 読み込み」ボタン
このボタンを押下すると、プロジェクト実績 DB からスタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールの「data1」、「data2」、「data3」「data4」および「data5」の各シートにプロジェクトデータを読み込みます。
このボタンを押下して、データを読み込んできた場合は、必ず「計算値一括反映」ボタンを押下してください。
- ⑥「計算値一括反映」ボタン
このボタンを押下すると、「data1」～「data5」シートからデータを「記入フォーム」シートに読み込んで再計算した後、「data1」～「data5」シートへ書き出す処理を行います。
- ⑦ 計算値一括反映処理ステータス表示エリア
計算値一括反映処理の処理状況を表示します。
・計算値一括反映処理実行中 ⇒ 「処理中...」が表示されます
・計算値一括反映処理終了 ⇒ 「終了」が表示されます
- ⑧「バージョンチェック」ボタン
このボタンを押下すると、スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールとプロジェクト実績 DB のバージョンが対応しているかどうかをチェックします。

7.4.2 「LOG」シート

①	②	③	④	⑤
精査実施済判定Start	2007/5/22 11:36	済=	0 未実施=	1 TOTAL=
各社採番ProjectID=	No.1-1			
精査実施済判定End	2007/5/22 11:36			
Start	2007/5/22 11:36	OK=	1 NG=	0 TOTAL=
End	2007/5/22 11:36			

① 開始/終了表示エリア

DB 書き込み処理の情報が記録されます。

名称	内容
Start	DB 書き込み開始
End	DB 書き込み終了
精査実施済み判定 Start	DB 書き込み時の精査処理開始
各社採番 ProjectID=	精査が行われたプロジェクト ID
精査実施済み判定 End	DB 書き込み時の精査処理終了

② タイムスタンプ

名称	内容
Start	処理開始時のタイムスタンプ
End	処理終了時のタイムスタンプ
精査実施済み判定 Start	処理開始時のタイムスタンプ
各社採番 ProjectID=	精査が行われたプロジェクト ID
精査実施済み判定 End	処理終了時のタイムスタンプ

③ 正常終了プロジェクト数

名称	内容
Start	正常に書き込まれたプロジェクト数
精査実施済み判定 Start	精査済みのプロジェクト数

④ 異常終了プロジェクト数

名称	内容
Start	書き込みを失敗したプロジェクト数
精査実施済み判定 Start	未精査のプロジェクト数

⑤ 全体プロジェクト数

名称	内容
Start	書き込みの対象となったプロジェクト数
精査実施済み判定 Start	精査チェックの対象となったプロジェクト数

7.5. AccessDB連携事前準備

AccessDB連携における事前準備は、Excelツールのみの場合の事前準備、「5. 事前準備」と同様です。

7.6. AccessDB連携操作方法

7.6.1 AccessDB読み込み

(1) 注意事項

DB 読み込みを行うと、スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールにデータが読み込まれ、それまでのスタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールの内容は全て DB データの内容に書き換わります。

スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールでデータの編集を行い、かつDB書き込みを行っていない場合は編集データの復元ができません。DB 読み込みの前にあらかじめ他のデータベースにDB書き込みを行うことを推奨します。（「7.6.3 AccessDB 書き込み」を参照）

(2) 「Top」シートの「DB 名」に、読み込み対象の DB 名を入力します。

- DB がスタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールと同じフォルダにある場合は、「本ツールと同じフォルダにある」チェックボックスにチェックを入れ、ファイル名のみを入力してください。
- DB がスタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールと同じフォルダにない場合は、「本ツールと同じフォルダにある」チェックボックスのチェックを外し、フルパスで入力してください。

DB登録ツール Ver.4.1

Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC All rights reserved.

DB名: SEC_DB_v4.1.mdb

☒ 本ツールと同じフォルダにある

ここ(C6セル)に記述されているDBが使用されます。

本ツールと同じフォルダにある場合は、ファイル名を記述し、「本ツールと同じフォルダにある」チェックをつけてください。

本ツールと同じフォルダにない場合は、フルパスでファイル名を記述してください。

ファイル名には拡張子(*.mdb)を必ず記述してください。

Access
DB書き込み

「Access DB書き込み」ボタンをクリックすると、
「data1」～「data5」シートの全てのデータがDBに書き込まれます。

☒ DB書き込み時の精査スキップ

Access
DB読み込み

「Access DB読み込み」ボタンをクリックすると、「data1」～「data5」シートの
全てのデータをクリアした後、DBからデータを読み込みます。
DBに書き出していないデータがある場合は、「Access DB書き込み」ボタンをクリックして、DBに書き出して下さい。

計算値一括反映

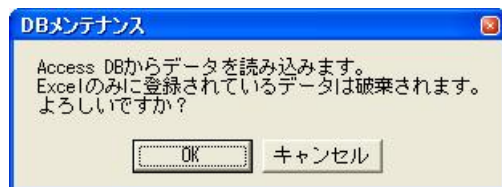
「計算値一括反映」ボタンを押下すると、
「data1」～「data5」シートからデータを「記入フォーム」シートに読み込んで、再計算した後、
「data1」～「data5」シートへ書き出す処理を行います。

ステータス:

バージョンチェック

「バージョンチェック」ボタンをクリックすると、
スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール(本ファイル)のバージョンとDBファイルのバージョンが
同一であるかのチェックを行います。

- (3) 「Access DB 読み込み」ボタンを押します。
Access DB 読み込み確認のダイアログが表示されますので、「OK」を押します。



データ件数や使用 PC のスペックによって読み込み時間が変わりますのでご注意ください。

- (4) Access DB 読み込み処理の完了ダイアログが表示されます。
「OK」を押すと、Access DB 読み込み処理が完了します。



- (5) DB 読み込み処理を行うと、「Top」シートに組織 ID とプロフィール情報が読み込まれ、「data1」、「data2」、「data3」、「data4」、「data5」シートにプロジェクト実績データが読み込まれます。

0:総件数		21	21	21	0	0	21	10	21	0	21
ID	101_プロジェクトID 事務局	102_データ信頼性 事務局	10084_各社探番のプロジェクトID	11001_全体システム・サブシステム識別フラグ	11002_グループID	10085_各社評価の本データの信頼性	103_開発プロジェクト種別	104_母体システム安定度	105_開発プロジェクト形態	105_開発プロジェクト形態_他名称	106_受託開発作業場所 1
SV0000001-06	A		データ(46)	b:サブシステム			a:新規開発		b:受託開発		a:顧客先
SV0000002-06	A		データ(47)	a:全体システム			a:新規開発		b:受託開発		b:自社
SV0000003-06	A		データ(48)	a:全体システム			a:新規開発		b:受託開発		b:自社
SV0000004-06	A		データ(49)	a:全体システム			b:改修・保守	b:システムは安	b:受託開発		b:自社
SV0000005-06	A		データ(50)	a:全体システム			a:新規開発		b:受託開発		b:自社
SV0000006-06	A		データ(51)	b:サブシステム			b:改修・保守	a:システムは安	b:受託開発		a:顧客先
SV0000007-06	A		データ(53)	b:サブシステム			b:改修・保守	a:システムは安	b:受託開発		b:自社
SV0000008-06	A		データ(54)	b:サブシステム			b:改修・保守	a:システムは安	b:受託開発		b:自社
SV0000009-06	A		データ(55)	a:全体システム			b:改修・保守	a:システムは安	b:受託開発		c:その他
SV0000010-06	A		データ(56)	b:サブシステム			a:新規開発		b:受託開発		b:自社
SV0000011-06	A		データ(57)	a:全体システム			b:改修・保守	a:システムは安	b:受託開発		b:自社
SV0000012-06	A		データ(58)	a:全体システム			c:再開		b:受託開発		b:自社
SV0000013-06	A		データ(59)	a:全体システム			c:再開		b:受託開発		b:自社
SV0000014-06	B		データ(60)	b:サブシステム			b:改修・保守	a:システムは安	b:受託開発		b:自社
SV0000015-06	A		データ(61)	b:サブシステム			b:改修・保守	a:システムは安	b:受託開発		b:自社
SV0000016-06	A		データ(62)	b:サブシステム			a:新規開発		b:受託開発		b:自社
SV0000017-06	A		データ(63)	b:サブシステム			a:新規開発		b:受託開発		b:自社
SV0000018-06	A		データ(64)	b:サブシステム			b:改修・保守	a:システムは安	b:受託開発		b:自社
SV0000019-06	A		データ(65)	b:サブシステム			b:改修・保守	a:システムは安	b:受託開発		b:自社
SV0000020-06	A		データ(66)	b:サブシステム			a:新規開発		b:受託開発		b:自社
SV0000021-06	A		データ(67)	a:全体システム			b:改修・保守		b:受託開発		b:自社

また、「データ精査(必須チェック)」、「データ精査(矛盾チェック)」シートから、精査ログがクリアされます。

[illegible][illegible]

7.6.2 AccessDB書き込み

(1) 注意事項

あらかじめ「記入フォーム」シートの編集データの保存(新規保存/上書保存)を行ったか確認してください。保存を行っていない場合、編集データが AccessDB に更新されませんのでご注意ください。

DB 書き込みは、以下の通り処理が行なわれます。

- ① DB 上に同じプロジェクト ID を探しに行きます。
- ② 同じプロジェクト ID があれば、上書きを行います。
- ③ 同じプロジェクト ID がなければ、新しいプロジェクト ID で、新規に書き込みを行います。
- ④ プロジェクトデータ削除されたプロジェクト ID があれば削除します。

(2) 「Top」シートの「DB 名」に、書き込み対象の DB 名を入力します。

- ・ DB がスタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールと同じフォルダにある場合は、「本ツールと同じフォルダにある」チェックボックスにチェックを入れ、ファイル名のみを入力してください。
- ・ DB がスタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールと同じフォルダにない場合は、「本ツールと同じフォルダにある」チェックボックスのチェックを外し、フルパスで入力してください。

DB 書き込み時の精査をスキップしたい場合には、「DB 書き込み時の精査スキップ」チェックボックスにチェックを入れてください。

注意) スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールのデータに誤りがないことが前提です。
精査チェックされていないデータを書き込む場合はお奨めできません。

DB登録ツール Ver.4.1

Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC All rights reserved.

DB名: SEC_DB_v4.1.mdb

☒ 本ツールと同じフォルダにある

ここ(C6セル)に記述されているDBが使用されます。

本ツールと同じフォルダにある場合は、ファイル名を記述し、「本ツールと同じフォルダにある」チェックをつけてください。

本ツールと同じフォルダにない場合は、フルパスでファイル名を記述してください。

ファイル名には拡張子(*.mdb)を必ず記述してください。

Access
DB書き込み

「Access DB書き込み」ボタンをクリックすると、
「data1」～「data5」シートの全てのデータがDBIに書き込まれます。

☒ DB書き込み時の精査スキップ

Access
DB読み込み

「Access DB読み込み」ボタンをクリックすると、「data1」～「data5」シートの
全てのデータをクリアした後、DBからデータを読み込みます。
DBIに書き出していないデータがある場合は、「Access DB書き込み」ボタンをクリックして、DBIに書き出して下さい。

計算値一括反映

「計算値一括反映」ボタンを押下すると、
「data1」～「data5」シートからデータを「記入フォーム」シートに読み込んで、再計算した後、
「data1」～「data5」シートへ書き出す処理を行います。

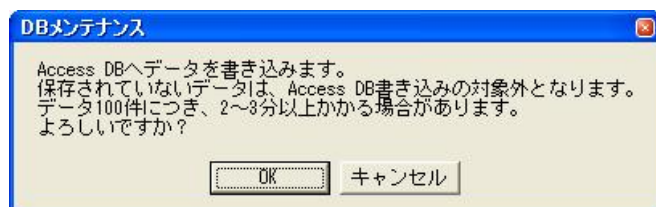
ステータス:

バージョンチェック

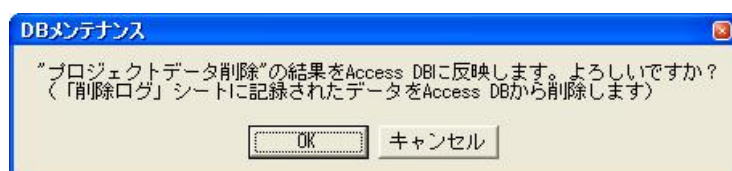
「バージョンチェック」ボタンをクリックすると、
スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール(本ファイル)のバージョンとDBファイルのバージョンが
同一であるかのチェックを行います。

- (3) 「Access DB 書き込み」ボタンを押します。

Access DB 書き込み確認のダイアログが表示されますので、「OK」を押します。

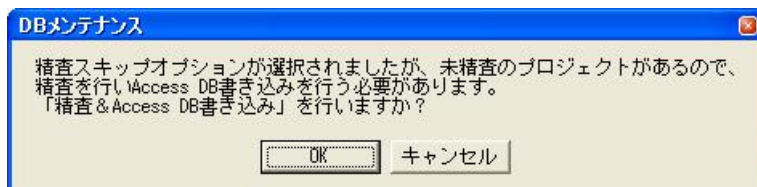


- (4) 「削除ログ」シートに削除記録がある場合、以下の確認メッセージが表示されます。

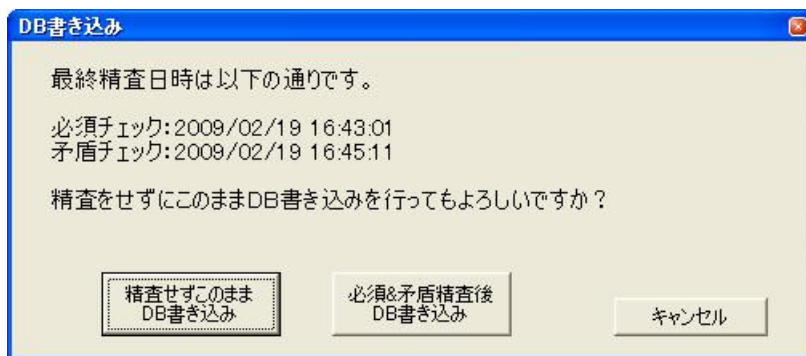


Access DB に反映しても問題が無い場合には、「OK」を押下します。
「キャンセル」を押下すると、Access DB 書き込み処理を中止します。

- (5) 精査処理スキップ無効の確認メッセージの応答を行います。
「DB 書き込み時の精査スキップ」にチェックを入れていた場合、確認メッセージが表示されます。
- a) 新規登録したプロジェクトデータがある場合には、以下の確認メッセージが表示されます。
実施する場合は「OK」を押してください。



- b) 全プロジェクト精査済みの場合、以下の確認メッセージが表示されます。
個別に精査を行う場合は、「キャンセル」を押して、データ精査シートから行ってください。



- (6) プロジェクト実績データ 10 件で 20 秒程度の書き込み時間がかかります。
データ件数や使用 PC のスペックによって書き込み時間が変わりますのでご注意ください。
- (7) DB データ書き込み処理の完了ダイアログが表示されます。
以下のダイアログが表示されるので「OK」を押してください。



7.6.3 計算値一括反映

data1～data5 シートを直接編集した場合や、「Access DB 読込」を行った後に図表作成や CSV 出力を行う際には「計算値一括反映」を実行し、シート内の自動計算値を再度計算します。

(1) 「DB 登録」シートの「計算値一括反映」ボタンを押します。

DB登録ツール Ver.4.1

Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC All rights reserved.

DB名: SEC_DB_v4.1.mdb

☒ 本ツールと同じフォルダにある

ここ(C6セル)に記述されているDBが使用されます。

本ツールと同じフォルダにある場合は、ファイル名を記述し、「本ツールと同じフォルダにある」チェックをつけてください。

本ツールと同じフォルダにない場合は、フルパスでファイル名を記述してください。

ファイル名には拡張子(*.mdb)を必ず記述してください。

Access
DB書き込み

「Access DB書き込み」ボタンをクリックすると、
「data1」～「data5」シートの全てのデータがDBIに書き込まれます。

☒ DB書き込み時の精査スキップ

Access
DB読み込み

「Access DB読み込み」ボタンをクリックすると、「data1」～「data5」シートの
全てのデータをクリアした後、DBからデータを読み込みます。

DBIに書き出していないデータがある場合は、「Access DB書き込み」ボタンをクリックして、DBIに書き出して下さい。

計算値一括反映

「計算値一括反映」ボタンを押下すると、
「data1」～「data5」シートからデータを「記入フォーム」シートに読み込んで、再計算した後、
「data1」～「data5」シートへ書き出す処理を行います。

ステータス:

バージョンチェック

「バージョンチェック」ボタンをクリックすると、
スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール(本ファイル)のバージョンとDBファイルのバージョンが
同一であるかのチェックを行います。

(2) ステータスに「終了」が表示されれば計算値一括反映処理終了です。

(計算値一括反映処理中は、ステータスに「処理中...」が表示されます)

DB登録ツール Ver.4.1

Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC All rights reserved.

DB名: SEC_DB_v4.1.mdb

☒ 本ツールと同じフォルダにある

ここ(C6セル)に記述されているDBが使用されます。

本ツールと同じフォルダにある場合は、ファイル名を記述し、「本ツールと同じフォルダにある」チェックをつけてください。

本ツールと同じフォルダにない場合は、フルパスでファイル名を記述してください。

ファイル名には拡張子(*.mdb)を必ず記述してください。

Access
DB書き込み

「Access DB書き込み」ボタンをクリックすると、
「data1」～「data5」シートの全てのデータがDBIに書き込まれます。

☒ DB書き込み時の精査スキップ

Access
DB読み込み

「Access DB読み込み」ボタンをクリックすると、「data1」～「data5」シートの
全てのデータをクリアした後、DBからデータを読み込みます。

DBIに書き出していないデータがある場合は、「Access DB書き込み」ボタンをクリックして、DBIに書き出して下さい。

計算値一括反映

「計算値一括反映」ボタンを押下すると、
「data1」～「data5」シートからデータを「記入フォーム」シートに読み込んで、再計算した後、
「data1」～「data5」シートへ書き出す処理を行います。

ステータス: **終了**

バージョンチェック

「バージョンチェック」ボタンをクリックすると、
スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール(本ファイル)のバージョンとDBファイルのバージョンが
同一であるかのチェックを行います。

7.6.4 バージョンチェック

(1) 「DB 登録」シートの「DB 名」に、読み込み対象の Access DB 名を入力します。

- DB がスタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールと同じフォルダにある場合は、「本ツールと同じフォルダにある」チェックボックスにチェックを入れ、ファイル名のみを入力してください。
- DB がスタンドアローン型プロジェクト診断支援ツールと同じフォルダにない場合は、「本ツールと同じフォルダにある」チェックボックスのチェックを外し、フルパスで入力してください。

DB登録ツール Ver.4.1

Copyright (C) 2009-2011 IPA SEC All rights reserved.

DB名: SEC_DB_v4.1.mdb

☒ 本ツールと同じフォルダにある

ここ(C6セル)に記述されているDBが使用されます。

本ツールと同じフォルダにある場合は、ファイル名を記述し、「本ツールと同じフォルダにある」チェックをつけてください。

本ツールと同じフォルダにない場合は、フルパスでファイル名を記述してください。

ファイル名には拡張子(*.mdb)を必ず記述してください。

Access
DB書き込み

「Access DB書き込み」ボタンをクリックすると、
「data1」～「data5」シートの全てのデータがDBに書き込まれます。

☒ DB書き込み時の精査スキップ

Access
DB読み込み

「Access DB読み込み」ボタンをクリックすると、「data1」～「data5」シートの
全てのデータをクリアした後、DBからデータを読み込みます。
DBに書き出していないデータがある場合は、「Access DB書き込み」ボタンをクリックして、DBに書き出して下さい。

計算値一括反映

「計算値一括反映」ボタンを押下すると、
「data1」～「data5」シートからデータを「記入フォーム」シートに読み込んで、再計算した後、
「data1」～「data5」シートへ書き出す処理を行います。

ステータス: **終了**

バージョンチェック

「バージョンチェック」ボタンをクリックすると、
スタンドアローン型プロジェクト診断支援ツール(本ファイル)のバージョンとDBファイルのバージョンが
同一であるかのチェックを行います。

(2) 「バージョンチェック」ボタンを押します。

本ツールと Access DB ファイルのバージョンチェックの結果が表示されます。

